京城日報

二月十四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

本紙定價 壹部參錢 壹箇月金七十五錢
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

第四十一回帝國議會

衆議院本會議 (十三日)

與黨對野黨の怒罵＝議場沸騰す ＝豫算案通過＝

午後一時十三分開會此の日總豫算案上程の日とて傍聽席は定刻前既に滿員となり各派議席亦緊張の氣を漲る諸般報告後大岡議長は昨日葉山御用邸伺候拜謁仰付けられ御言上の次第を報告し日程に入る時局の影響に關する地方税制緩和に關する法律案

▲床次內相 登壇提案理由を說明し神谷卓男氏(國民)の質問あり內相之に答へ二十七名の委員附託

●此時岩崎勳氏(政友)緊急動議を提出し日程變更開墾助成法案を議題とし委員長田中隆三氏委員會の經過を報告し修正案を可決確定次に

一大正八年度豫算案●第一號臨時軍事費豫算追加案●第一號大正八年度歳入歳出豫算追加案●追加第一號豫算外國庫の負担となるべき契約をなすを要する件右四案一括議題とし

▲齋藤豫算委員長 登壇八年度豫算審議に當り最も多く論議されたるは物價騰貴に伴なふ經費增加にて四億二千四百萬圓と云ふ未曾有の增加を來せり次に米價調節に關する質問に就ては政府は誠心誠意調節を期する旨の言明を得各派より政府案の豫算に對し賛成の意を表し二三希望條件出でたるに過ぎず政府案に對して一厘一毛の削減無く原案成立を見たるは軍國議會を除く外類例を見ざる次第なりと委員會の經過を述べ次に

▲山本悌二郎氏(政友) 登壇本員は政府案全體に賛意を表す本豫算案に對し在野黨より一厘の削減論出ざるは其內容の充實せる證左なり或るは之れ一種の偏見なりとの論あるも之れ一種の偏見なり第一農商務省に於ける食糧問題解決に伴ふ開墾助成法の如き外務省に於けるオムスク外一二箇所の領事館新設の如き一に海外貿易發展助成を期するにあるや勿論にて其他遞信內務文部等悉く見る可きもの妙からずと讃辭を並べ與黨振りの發揮に努むるや憲政會側より『御役目御苦勞』と弥次り笑聲起る、引續き山本氏は豫算總額八億圓中現內閣新事業として計上されたるもの實に三億三千六百萬圓に上る然るに之をしも總論の見る可きものなしとは何ぞやと喝破せしが此の時議場稍〻活氣を生ず山本氏更に豫算見積りに及び歳入見積りは過少と言ふも決して過大に非ずと述べ引續き公債論に移り大正六七年度の例を引き斯かる僅少の公債募集に堪へざる可しとは信ずる能はずと述ぶるや議場益〻倦み『催眠術は止めよ、斷然して呉れ』など叫ぶものあり山本氏平然として斯かる豫算を稱し總論無しとは國費を膨大ならしめ結局增税を强ふるものと見るの外無く一面に於て國費節約を叫び增税を否認しながら總論を叫ばんとす之れ矛盾も甚だしと論結し與黨の拍手に迎へられ降壇す

▲武富時敏氏(憲政) 登壇本年度豫算案を通覽するに大缺陷ありて手の著けやう無きに苦しむ大缺陷とは何ぞや第一財政の基礎薄弱なる事第二時勢の要求に應ずる施設一も無き事なり、何をか基礎薄弱なりやと言ふ之れ豫算額約十億の中歳入基礎は二億の自然增收と二億七千萬圓の公債募集金とに存す此基礎にして動搖し歳入不足とならば歳出豫算は實行不能に歸す可し此財界變動期に於て歳入は最も愼重に計畫す可きに不拘關税の標準を昨年六七月財界最好況の時に求むる如きは極めて拙策なり一例を擧ぐれば織物消費税の如き製鐵所利益金の如き其上げ一噸三百三十八圓とし四十七萬餘噸即ち一億六千萬圓を計上せるが這は時價に對比して何人か其無謀を思はざるものあらんや今や時局變動し財界變調の爲め所得税滯納處分相踵ぎ會社の解散又は對外貿易入超を見んとする時斯る根據に基く豫算を實行せんとせば苛斂誅求を爲す一途あるのみ而も誅求を爲さゞれば豫算實行不能に陷る可し次に本豫算には事業公債臨時事件公債約三億又國庫債券の募集す可きもの三億あり國庫債券は爲替調節の意味にて暫く問はざるも公債に於ては金融市場を壓迫し市場產業資金を奪ふものに非ざるか公債募集は通貨の縮小物價調節に資すと云ふも公債募入は銀行預金の振替手續のみにて通貨縮小に資せず寧ろ此爲め郵貯利子引上げ小額債券發行を可とせん且つ曩に山本悌二郎君は假令公債募集不能に終るも七年度剰餘金二億圓を生ず可きを以て憂慮の要無しと言はれたるも七年度剰餘金は九年度歳入財源たる可きものにて本豫算に關係無し要するに全體を通じ彌縫不徹底にして畢竟斯る豫算を提出せるは前內閣が剰餘金を使用し盡したる爲めにて編成の苦心は諒とするも一旦提出せる以上現內閣は之に對し責任を免る可からず本豫算を其儘實行せんか苛斂誅求金融壓迫の二大惡政を斷行せざるを得ず然らずば實行豫算に達し年度半ばに歳出豫算を節約し事業繰延策に隱れ豫算實行不可能たる無きを保せず第二時局に對應する經綸豫算面に現はれ居らざるは何ぞや即ち現內閣の四大政綱と傳ふる產業、國防、教育、交通の政務を進行する事は獨り現內閣の政綱とするところなるのみならず歷代內閣皆之を心とせり而も特に國防充實を唱へつゝ既定計畫の艦隊完成の設備を計上せず教育の振興は高等教育に專らにして中等、初等教育は與らず世界は新なる經濟戰に入らんとするに資本と勞働との調和、社會問題の解決等に關する費目を計上せず、之れ時代に順應する施設無しと云ふ所以なり本員等は之に對する修正案を提出すべき筈なれど所見を異にするところ歳入出豫算の全般並に豫算外の事項にも亘り之れを實行するに於ては行政府の權能にも立入らざる可からず又立法府の權威を損するを以て前述豫算編成の缺陷を認むる所以に就て政府の反省を促し其責任を明かにせんとす但し通常政務を遂行する意味に於て本豫算の通過を已むを得ざるものと爲す、武富氏の演說中政友席より屢々罵聲起り憲政會席の叱咤と相應じ議場騷然たり(聽)武富氏降壇鈴木梅四郎氏(國民)代つて起つ時に午後四時四十分此時議場の大半空席となり傍聽席亦漸く疎寞を告ぐ大岡議長は濱田副議長と代る

▲鈴木梅四郎氏(國民) 登壇世界變亂の影響に依り國民思想の啓發に伴なふ社會政策の實行諸般制度改革各種階級の調節等數へ來れば緊急解決を要すべき諸問題枚擧に遑あらず此の重大時局に際し成立せる現內閣の責任の大なる事言ふまでも無し本員は四圍の情勢に鑑み此際一黨一派の感情より脫して政府の豫算に賛成する者なり憲政會の諸君も此の時局に顧み從來の如き一黨一派の感情を抛擲し本豫算に賛意を表されん事を望む」と述べ降壇亟いで

▲上田彌兵衛氏(無所屬) 登壇現內閣が今期議會に提出したる財政計畫を以て尙ほ滿足するものに非ざるも暫く時局の推移に顧み將來適切なる方策を確立すべしと言明せるが本員も亦本豫算にて滿足するものに非ざるも政府の言を信じ賛成するものなりと結び降壇此の時大岡議長議長席に復し豫算案全部議了まで時間延長を諮り次で

▲小川郷太郎氏(政新) 登壇余は原內閣の政策に賛成なりと述ぶるや政友側より難有うと叫ぶ者あり笑聲起る氏は更に交通機關の完備教育振興を除ける產業發展國防充實に關しては計畫の貧弱なるを遺憾とすと述べ更に藏相が七年の景氣絕頂の當時に於ける財界を基本とし豫定したるを遺憾とすと述ぶるや困つた博士だと彌次る者あり氏は更に公債三億圓の募集は適切の政策なりと述べ最後に各省豫算々定の不統一を難じ警告を與へて賛成すと述べて降壇次ぎに

▲高橋藏相 登壇武富君は政府の豫算を以て現內閣は無爲無策又は無經綸なりと因ばれたり而も國民黨新政會其他の諸君は政府の經綸政策を認められ居るに[illegible]ずや好んで斯かる酷評を試みらるゝは空論として拜聽する外なしと述ぶるや憲政會より空論とは何事ぞやと怒號し政友會之に應じ議場騷然たり藏相更に歳入見積り過大公債募集過多なりとの批難に就き論ずるや憲政會に大藏大臣は發狂せりと彌次りし者ありて直に問題となりて失言論起り政友は懲罰に附せ取り消せと肉薄し憲政會は之れを取り消す故藏相の空論として拜聽せん云々も取消せと迫り議場喧々囂々卓を叩く者床を踏み鳴らす者等混亂其極に達す議長は憲政會に取消しを迫り憲政會肯かず議長と三木武吉氏(憲政)との間に數次押問答あり政憲兩派之れに和し懲罰を叫ぶに至り議場彌々騷然として藏相演壇に立往生する事數分遂に議長より之れを後廻しとすべしと宣し議場漸く平靜に復し藏相演說を續け頻りに憲政會の妄を叫び其の主張を駁し降壇するや高松正道氏(國民)自席より藏相の演說に對し發狂せりとの不謹愼なる言を發したる議員の處分を議長に要求し政國兩黨之れに和し三木武吉氏は自席より議長は發言者として余を指名せり之れ余の體面を傷けるものなれば取消すべしと迫り議場又復騷ぐ議長即ち余は三木君を發言者なりとは言はず故に取消の要なし唯發狂の如き言は最も忌はしき失言なるを以て速記錄より之れを全然削除すべしと述べ失言者不明の爲め懲罰問題に至らずして止む議長は即ち岩崎勳氏の討論終結の動議に異議無きやを諮り滿場異議なく四案を一括して採決に入り賛否を起立に問ひたる結果滿場一致原案通り可決確定す右にて大岡議長散會を宣する時に午後六時四十分(東京特電延着)

▼豫算通過謝辭

原首相以下各大臣は豫算案可決散會後院內にて政友憲政國民新政會所屬各派及び議長を歷訪し豫算案通過の謝辭を述べ又政友會院內幹事は國民新政會無所屬三派を訪ひ豫算通過の謝辭を述べたり(特電)

◇軍事會議と休戰

軍事會議にては休戰に關し未だ確定的の斷案を下すに至らず十二日も引續き討議したり(巴里電報)

◇日本を誣ふる流說

華盛頓聯合通信社は報道して曰く華盛頓に達せる某外交官の語る所に依れば日本は若し支那にして日支兩國間の秘密協約を公表し且つ又日本をして歐洲戰爭勃發の爲め支那に於て獨逸の保有せし一切の權利財源及び利益を繼承せしむべきことを內約せる條約を實行せざるが如きことあらば武力に愬へんとするが如き語氣を以て支那を脅威せりと又曰く華盛頓に於て洩れ聞く所に依れば在巴里支那議和委員は各秘密條約の寫しを日本通牒中の中より盜み取れるを以て講和會議に於ては是を公表することを報告し支那は目下頻りに英米兩國の援助を求めつゝあり而も米國官吏は是等の事に就て何等の批評を下すことを拒み居れり(倫敦電報)

▲附記 本電報は今朝刊所載『講和と我權利』と對照し之を見れば日本を米國に依る國際の排日的謀計と見るの外なく勿論捏造說に過ぎざらんも敢て本文のまゝを掲げて讀者と共に其の奸策如何を知らんとす

◇米國我提議受諾

米國政府は西伯利鐵道運輸恢復に關する日本の提議を正式に受諾せり(紐育電報)

◇露四皇族銃殺さる

某所着ニコライ、ミハイロウイッチ、ドミトリコンスタンチノーウイッチ、ギヨルグ、ミハイロウイッチ、パウル、アレキサンドロウイッチの四皇族は一月二十八日過激派の爲め銃殺されたりと(東京特電)

◎勞働問題研究(下)

某消息通談

道途或は我國に於ける主從の情誼の厚きに重きを置きて勞働問題を解決せんとするものあり或は仲裁和解の制度を設けて ▲勞働紛議 を其の破裂する以前に防止せんとするものあり兩者必ずしも不可なりとせず主從の情誼の明かに存する場合即ち家庭に於ける主人と婢僕商家に於ける番頭手代等の如き關係に於ては飽く迄も主從の情誼に基づき上下互に親和の必要あるや論を俟たずと雖も大規模の工場殊に株式會社に依つて經營せらるゝ工場に於て業務を擔當する重役と勞働者との間に果して情誼の念に結ばる如き因緣あるを得るや仲裁和解の制度の如き或る時期に至らば固より必要を生ず可きも勞働者間に何等組織の存せざる今日に於て ▲此種の制度 を設けたりとするも其の運用の巧妙を期することを得るや否や疑問なり即ち今日は勞働者の智識を增進して彼等に勞働上の諸問題を理解せしむるに在り我が朝鮮に於ける勞働問題は未だ世人の注意を惹く程度に至らざるも最近に於ける產業の發達は漸次本問題に觸れざれば止まざるの狀態に立ち至るべし近年內地企業界の盛況に伴ない一般勞働者不足を來し朝鮮人勞働者の渡航するもの次第に多く現に大正六年末內地在鮮人勞働者數は一萬二千三百十六人にして之に大正七年上半期に於て ▲募集許可 を受け渡航せるもの三千七百九十四人を加ふる時は合計一萬六千百十人となり更に募集許可を經ず單獨にて渡航せしものも亦尠少ならざるを以て內地に現在する朝鮮人勞働者の實數は記錄人員數よりは遙かに多かる可く此等勞働者は多くは鑛山工場に勞働せるが內地の和平に依る內地產業の縮小と共に失職の憂目を見る可きは逆睹するに難からず此失業鮮人に對し何等の保護をも講究せず其儘に放逐するに於ては公安上憂慮す可き點尠からざるを以て當局に於ては大に此點に鑑み種々考慮を廻らし著々之れが ▲救濟の策 を講じつゝあり之れ半島開拓の使命を帶べる朝野有識の士は半島勞働問題に對し今より相當の準備と覺悟とを爲し萬違算なきを期するの必要あるべし

◎定例長官會議

十四日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督以下各部長官局長等出席重要政務に就き審議する處ありたり

◎全鮮金融界 預金貸出增大

最近當局の調査に係る朝鮮內各行の預金貸出全計を聞くに左の如く預金は八千四百六十四萬九千圓貸出一億五千六百零二萬圓にして各銀行別に擧ぐれば左の如し(單位圓)(鮮內のみなり)

▲預金

朝鮮銀行	三一、八三〇、七五六
殖產銀行	一五、二四五、九七四
普通銀行	三七、五七二、七五五
合計	八四、六四九、四八五

▲貸出

朝鮮銀行	六五、五三〇、〇七一
殖產銀行	二九、八三九、七六〇
普通銀行	四四、九六八、七一六
東拓	一五、六八九、二四八
合計	一五六、〇二七、七九五

之れを前年同期に比すれば預金に於て三千零七十三萬圓を增加し貸出は四千八百萬圓の激增を來せり又預金貸出の地方別は左の如し

▲預金地方別

京仁地方	五六、八〇八、七八七
平南地方	六、二九六、三六九
釜大地方	一〇、九六九、八〇五
群山地方	三、八一八、九一五
木浦地方	二、九六一、〇四二
元山地方	二、一四二、六六九
清津地方	一、六五一、八九八
合計	八四、六四九、四八五

▲貸出地方別

京仁地方	八〇、二五四、〇九二
平南地方	一五、二一五、八四七
釜大地方	二九、七一一、一四五
群山地方	一二、五二一、七六六
木浦地方	八、一一四、一五六
元山地方	五、四三三、八四八
清津地方	四、七七六、九四一
合計	一五六、〇二七、七九五

預金に於て前年に比し激增せるは京仁地方一千三百萬圓釜山大邱方面三百五十萬圓にして貸出の激增は京仁方面一千八百萬圓平南方面六百萬圓釜山大邱方面一千四百萬圓群山方面六百萬圓等なりと

◎銀行營業時間改正問題

鮮銀某幹部談

京城商業會議所にては役員會にて六月一日より九月末日までの銀行營業時間を終始一時間繰上げ乃ち午前八時より午後三時までとなすの改正方を關係方面に要望する事となりしが右に付鮮銀某幹部は曰く豫は贊意を表するに躊躇せず何となれば夏時に於ける午前九時開業は晚きに失する嫌あるを以てなり又夏季の商賣は晝間盛暑の關係上夜間に跨がらざる傾きもあり勞働賃金の銀行預入の如き成るべく早めに之れをなすを必要とする事情もあり旅行等の場合午前九時の銀行營業開始を待ち得られざる關係もあるならん又銀行として見れば午後三時より四時までの如きは行員のため疲勞困憊するを常とするを以てその一時間の繰上げは甚だ佳なり結局營業時間の伸縮を來さざる改良案と云ふを得べし唯朝鮮銀行は國庫業務の關係あるを以て國庫課は六月より九月末日まで午後三時の營業打切りをなし(七月二十一日より九月十一日迄は午後三時土曜は午後一時)故に多少の暑中休暇期間を銀行營業時間繰上げとするも亦可ならずや何れにせよ研究の餘地あり要するに實行可能の問題ならん

◎滿洲大豆將來

一億九千萬石收穫見込

奉天商業會議所の調査に據れば南北滿洲に於ける大豆の產額は年々增大を告げつゝあるが今南滿洲に於ける一箇年の產額を聞くに奉天省一千六十一萬石、吉林省六百八十萬石、黑龍江省三百三十萬石、東部內蒙古二百萬石合計二千二百七十萬石にして其の中輸出額は約百萬噸(約七百二十萬石)に達しつゝあり然るに滿洲の大豆作は尙ほ頗る幼稚にして其耕作にも不充分なれば施肥の如き殆んど何等の方法をも加へられず唯自然的に放任し而も尠からざる好結果を收めつゝあるが若し之に改良を加へ其種子に肥料を充分に施しなば現在の七倍半即ち一億九千萬石位の收入を得べき見込あり殊に黑龍江省の如きは之れに改良を加ふれば優に二千五百萬石の收入を增加せしむる見込あり旁東三省の大豆作に對する將來は用途の廣大と相俟つて大いに有望なりと

◎仁川期米下押

十四日本場の仁川期米は內地市場の頭打ち的商狀と戾り賣り人氣旺盛のため値頃引ゆるみ寄附三十八圓七十五錢高値八十一錢止め六十四錢と前日に比し二三[illegible]丁の低落を示せり

◎移民來鮮數

東拓第九回移民は二月一日より來鮮する事となり居れるがその十日までに渡航せしものは六戶十八名にして行先地は京城、榮山、沙里院、水原、馬山各出張所管內なり尙ほ中下旬より三月に至り多數の來鮮あるべしと

◎露貨換算率

東清鐵道にては十二日より日滿連絡貨物運賃に適用すべき日露貨幣の換算率を百留に付五百八十留となす旨京城管理局に通知ありたり

◎次長心得任命

十三日附を以て山縣國葬儀掛長伊藤同次長不在中是を代理する爲め宇佐美葬儀掛臨時葬儀掛次長心得を命ぜられたり

◎鹽澤大佐出張

京畿道警務部長兼鹽澤憲兵大佐は龍仁驪州兩郡管內視察の爲め往復二日間の豫定を以て來る十七日出張す可し

◎南滿教育視察團動靜

入城中の南滿中學堂學事視察團一行は十四日午前十時十分南大門驛發列車にて下仁午後二時仁川發開城に向ひ同地視察の上北行の筈なり

◎瑞西公使夫人北行

駐日瑞西公使夫人令孃一行は十八日午後十一時釜山發列車にて京城通過北京に直行する由

◎分遣所長赴任

平南安州憲兵分遣所長は缺員中のところ後任たる憲兵特務曹長大西捨松氏は十三日赴任せりと

◎籾袋を叺とせよ(上) 俵裝改良急務

天日朝鮮精米專務談

米價は惡騰に惡騰を重ねつゝある爲め從つて米價の緩和策は社會の一大緊案となり或は ▲水利灌漑 に憑して產米の增進を計らんとし或は造酒原料を節減して食米を增加せんとし或は米穀の減損防止に努めて收穫後の損失を少からしむる等異說百出輿論は翕然として米の問題に集中して居る併し米價の緩和策は焦眉の急務であると共に一方永遠の計畫を以て將來の增產を計ると共に當面喫緊の施設を怠つてはならぬ從つて米穀の減損防止策の如き最も急を要すべき施設であると信ずるのである最近神戶商業會議所の主唱により北米加奈陀の穀物局及び食糧局の例に倣ひ米穀の減損防止を計らんとし近く六大會議所協議の結果に依り議會に建議書を提出せんとするが如き ▲實に肯綮 に中りし良策と信ずるのである朝鮮に於ても米穀の減損防止に要する施設は甚だ多く此の種の減損防止も亦特に急務と思ふ先づ實行を要すべきは俵裝の改善であらう朝鮮では米穀を生產地より市場に廻漕するには通常籾の儘であるが其俵裝は頗る粗雜不整で所謂籾袋と稱する束ね藁を編んで製せし粗雜な俵に包裝する因習が牢として拔けぬ從つて之を車馬にて市場に廻漕する際し粒々辛苦の結果に成りし籾粒は俵の間隙より洩れて途中幾何となく脫落する之れが爲め生產者に多大の不利を醸すのみならず俵裝上甚だ非常の不同あり取引上の不便は名狀し難き狀態である若し之れを叺に包裝することに改善すれば是等凡ての弊害を除去することが出來る元來 ▲籾袋一俵 に要する原料藁を以て叺を製する時は上等叺にても優に三枚を製するに足る而して叺の時價は一等三十錢二等二十八錢三等二十六錢の割合で空叺にても二十錢の値を踏むのである然るに籾袋の空俵は高くて十錢安くて六錢の値を超ゑぬ故に若し舊來の籾袋に代ふるに叺を以てすれば籾一石に對し叺二枚を使用するを以て空俵のみでも三十錢の遺利を收むるのみならず尙且叺一枚分の原料藁を節約することが出來る加之舊來の籾袋より脫落する籾の量は一概に論じ難きも平均一俵に付一斤半と見積るも今日の價格を以てすれば十五錢に上るのである從つて五百萬石の籾を搬送するものと假定すれば無慮七十五萬圓の損失を見る譯である

人事消息

▲横井實郎氏(殖產局第二部長) 十四日朝入城湖尾へ
▲武永松二氏(第二師團三菱出張所次長) 十四日朝入城
▲菊池謙讓氏 十三日夜出發內地へ
▲吉田聯次郎氏(大日本製糖販賣課長) 兩三日の豫定にて十三日夜釜山へ出張
▲遠藤柳作氏(總督府秘書課長) 山縣政務總監隨行として近日東上の筈
▲弓削幸太郎氏(總督府學務課長) 大[illegible]金州及び大邱へ出張を命ぜらる
▲松野二平氏(總督府水產課技師) 全州唐津郡に出張を命ぜられ十三日出發

八面鋒

◇歐洲大戰の影響が、化學工業其の他に、多大の進步、變遷を來せるは、何人も知る處なれど、之れに正反對を以て、人間界に及ぼしたる影響は、洵に戰慄を禁ぜざるものあり。先づ第一は、大戰が出生兒に及ぼせる影響也。醫師の調査に由れば、從來未だ見能はざりし特徵が、產兒の多くに現はれ居りて、其の多くが發育不良、驅體極めて小さく、皮膚弛緩にして、恰も老人の如く、且神經過敏にて落ち着きなしと。是は全く母親が戰爭の爲め絕えず神經を刺戟され、また不適當なる食物に由りて、營養不足を來せるに因し、歐洲にては、斯る小兒を、戰爭兒と呼び居れりとは、有り難からざる記念物也。

◆次に大戰の影響を受けて、不良少年少女の激增也。伯林、倫敦等にありては、何れも一萬以上の其等が、公然各所に跋扈し、小都市に至るも、尙ほ六千を算すべしと之等少年少女の父は何れも戰場に出で、母は之に代つて何等かの職業に就き居れるより、彼等には監視の眼無く、從つて惡化し來り、其の犯罪性質も亦、時代の殺伐なる空氣に感染し、强盜脅迫等殊に多く、今後暫くは之等を善良化せしむる事は、全く覺束なきのみならず、更に其數を增加しつゝあり。今後の歐洲は、世界の危險界として、何人も警戒を要すべし。

◆人間腦力の眞價如何、米國の論客ハツプーグドの說に從へば、五十五才以上六十六才以下が、最も發揮さるゝ時期也。食糧問題にて成功したる、四十二才のフーバーの仕事には多少の缺點あり。大戰にて成功せしペーカー陸相に失敗もあり。荒仕事は五十歲前後が適當にて、戰時財政と鐵道管理に大成功したる、マツカヅー前藏相五十五歲、ウィルソン君は六十二歲にて、年廻りより云へば、頭腦の最も冷靜なる時代なるが故に、講和會議にても、必ず成功すべしと云ふ。早老の日本人は、茲に至つては顏色なし。

◆日暖にして宛然彌生の如く、殘雪を見るがふさはし。之れに地方米穀金融者が、資金の融通を引き締めれば、朝鮮は無比の太平極樂境也。

商業登記公告
株式會社朝鮮殖產銀行春川支店登記事項變更
理事中村光吉八大正八年貳月四日其住所ヲ京城府中學洞拾八番地ニ移轉シタリ
右大正八年貳月八日登記
京城地方法院春川支廳

自動車
本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技術販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送
東京市京橋區 東京自動車學校
大阪市西區市岡町に分校あり
岡山市中島町六に講習所新設

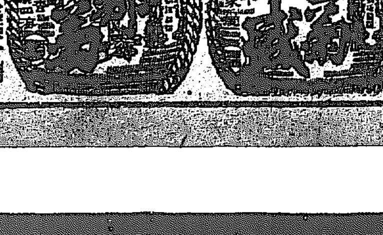
大正八年の發明製造機 農具品中の大金儲機
八百川式

大繩機專用
直徑五歩より二寸迄の繩を製す西洋のカガリ繩及び特別の檜のカガリ繩ツナ等に使用至便なり希望者は至急申込あれ返信說明書送ります
一郡に一人の特約店を募集す
大阪東區東雲町二丁目豐津橋南詰
八百川農具商會
振替口座大阪一〇七四四番

京都產
金銀諸箔鈴
黃銅鈴。齒科用金箔
無地金屛風。押紙
右各種製造販賣
京都市御幸町御池南入
堀至善堂
電話上一五五九番 振替大阪六〇四番
大阪市南區長堀南通四丁目
大阪支店
電話西八八七番

電話至急入用ノ方ハ 八五五九番へ

大阪府堺市
釀造元 肥塚源次郎

醇良清酒

京城本町一丁目
特約販賣店 佐藤牧次郎 電話一一九一番

大正七年七月一日改正現行

○危險の域を脱す

山縣老公十三日の容體

山縣公十三日正午の容體は體温三十八度一分、脈搏八十四、呼吸二十八にて殆ど危險の域を脱したり徹宵看護しつゝある貞子夫人令孫辰吉氏と數回談話を交はされし程なれど一般面接は避け居れり閑院宮、久邇宮兩殿下より御使御差遣御見舞あり御甫子、田男其他多數の見舞ありたり(東京特電)

○聖上特使を差遣し

病床に御見舞を賜はる

山縣公十三日午後三時容體は體温三十八度三分脈搏八十二呼吸二十八にて昨日の如くなりしも尚樂觀を許さず朝香、竹田、伏見各宮家より御使あり見舞の品を下賜されたり尚兒玉伯、後藤男其他見舞客あり　聖上陛下には原侍從を特使として葉山より特に御見舞あり古稀庵は少からず混雜し居れり(東京特電)

○寒心す可き……西伯利の衛生狀態

我醫藥界發展の好機(二)

從軍記者　早川巳之利

寒暑激烈で、不健康な、西伯利に於ては流行病及び、肺病等の發生蔓延すること甚だしく、人口に比例すれば驚く可き數に達する。目下西伯利に發生しつゝある傳染病流行病は、腸チブス、發疹チブス、流行性腦脊髓膜炎、麻疹、ヂフテリヤ、赤痢、丹毒等猖獗を極め、地方に依つては、コレラ、肺ペストの發生を見、壞血病も又大いに流行し、アクモリン州の如き、千九百十二年以降年々一萬數十人を數へつゝある

地方病としては此の外に天然痘猩紅熱

再歸熱、シベリヤ潰瘍等非常な勢ひを以て風靡しつゝあるが、エカテリンブルグ市の如き、戰場に近き關係上、日々約二百の發疹チブス、百餘の再歸熱患者發生し、患者の收容に手を缺いて居る位。病院は、然るに公私立病院及び藥局醫師等の數は極めて尠く、最高學府の所在地なる、トムスクを除く他の都市に於ては全く見る可きものがない、目下の西伯利の事は知るに術がないが人口三四萬の市に於ては概ね、市立病院があつて一部施療患者を收容し、大なる停車場所在地には鐵道病院があり、所に依つては赤十字社病院もあるが

醫師の數は

僅に二三名平均に過ぎない、オムスクウハア等平時人口八萬乃至十萬以上もある、都市に於てすら、公醫陸軍病院等を除く、市民衛生に直接關係ある醫師及び病院數は極めて少くて、人口一萬に對し醫師一人の割合にも達せないであらう、之れを人口千に對する醫師一人の比例の日本に比すれば、如何に貧弱であるかゞ察せられやう。病院に於ける患者の收容力も極めて微々たるもので其設備に至つては話にならぬ程幼稚なものであることは言を俟たない、左に重なる都市に於ける最近の醫師病院數を掲げて見よう

地名	平時人口	公私立診療所數	醫師數	藥局	陸軍病院	
イルクツク	一三〇、〇〇〇	五	七〇	九	二	以上陸軍病院を含む
ニジチウージンスク	六〇、〇〇〇	一	三〇	一	三	
クラスノヤルスク	七〇、〇〇〇	五	六〇	五	?	
トムスク	一一〇、〇〇〇	九	三〇	八	?	
ノヴニコラエスク	六〇、〇〇〇	五	六〇	五		
オムスク	一七〇、〇〇〇	五	一〇〇	六	●●	以上陸軍病院を含む外來國病院
チエリヤビンスク	七〇、〇〇〇	五	四七	?	?	
エカテリンブルグ	八〇、〇〇〇	三	一〇〇	?		以上陸軍病院を含む

右の表は記者が匆忙の間に馬車を驅つて市の衛生局及び商業會議所等より聞き得たもので元より

精確を期する事は不可能

であり且つ病院中醫療機械及び藥品缺乏のため閉鎖中のものが多いから實際市民衛生に當つてゐるものは半數と見て大過ない、而も各地共に戰爭避難民蝟集して平時人口の五倍乃至六七倍に達し、戰爭チフス、其傳染病猖獗を極め居る今日、醫療機關の缺乏極點に達し住民の保健上の危機到來しつゝあることは想像に難くあるまい。

○東京灣一周飛行

海軍航空隊に於ては過般來下士卒に飛行術練習をなさしめ居たるが技術熟達すると共に成績頗る良好なるより十二日頃阪尾三等兵曹越水一等水兵、前島一等水兵の三名をしてモ式七十馬力を操縱せしめ東京灣一周飛行をなさしむる筈なり搭乘する機はモ式イの二號、同十一號、同十四號にて午前八時出發先づ千葉縣富津に至り木更津より海岸線を千葉町の上空に出で左折して東京に向ひ横濱を經て歸隊すべき豫定なり(横須賀)

○東京深川燒く

全燒五十八　原因放火か

……猛烈となり遂に全燒五十八戸半燒二戸を出して十時四十分鎭火せるが原因に就き放火の疑ひあり目下取調中なり(東京特電)

……關釜連絡船新羅丸が釜井島沖合航行中二等船客大阪市南區北桃谷近藤文子(三七)は突然投身し行方不明となりしが右は取調べの結果歸……すれば打殺すとか種々凄文句を並べ待するより是迄再三實家へ逃げ歸りたる事あり其都度海老原は後を追うて出掛け若し意に從つて歸らりたる事すらあり兎に角常々家庭のゴタゴタ絶わず面白からざる日を送りつゝある折柄海老原は

◇召集

されシベリアに出征を他に居くるやら知れずとの事なるに悲觀し遂に意を決し投身せしものならんと

○火災二件

十三日午後七……なりと▲十四日午前四時四十分京……に燃移りたるものにして入齋には……死傷なく損害見積は約三百五十圓

○油斷は出來ない

＝山縣政務總監釜山にて語る

山縣老公病氣重態の報に接し急遽歸東の途にある山縣政務總監及び夫人は午後七時蒸釜同時に無く打沈まれつゝ、直ちに新羅丸に乘じ釜山官民の見舞を受けたるが政務總監は曰く『父は何分にも八十二歳の高齡ではあるが平常は至極健康の方で別に他の病氣に冒される樣な事は無い筈であるが今回の流行感冒には誰れ彼れとなく冒されるのであるから大に心配をしてゐる然し途中三四回の電報に接したが其後の經過はよい方であるとの事だ何を云ふても年が年の上に惡性感冒であるから決して油斷は出來ない』と(釜山)

○國葬期日決定

愈々三月三日(宮内省發表)

故李太王殿下國葬期日及び御墓所に就き十三日附を以て宮内省より左の如く決定せる旨發表ありたり

國葬期日　三月三日

御墓所　京畿道楊州郡渼金面金谷里

▼洪陵金谷間進行順序

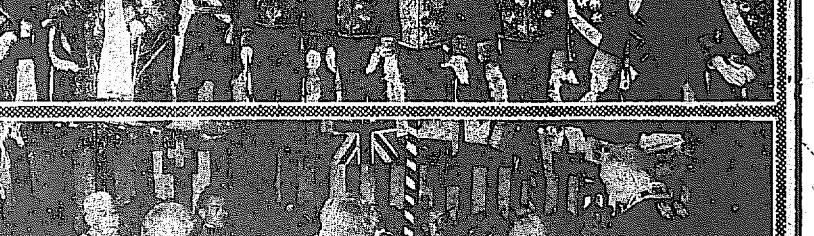
十五日洪陵金谷間御發引の儀行列進行次第左の如し

▲第一逕　午前八時洪陵發清凉里前路迄
▲第二逕　清凉里前路より舊徽慶園前路迄
▲第三逕　舊徽慶園前路より烽火峴洞前路迄
▲第四逕　烽火峴洞前路より鳳凰洞晝停所迄午前十一時頃著此間晝食(約一時間)
▲第五逕　正午十二時鳳凰洞晝停所より忘憂里峴上迄
▲第六逕　忘憂里峴上より同峴下迄
▲第七逕　忘憂里峴下より仁章里前路迄
▲第八逕　仁章里前路より陶農里迄午後四時頃著此間夕食(約一時間)
▲第九逕　同五時陶農里より素味下里迄
▲第十逕　素味下里より粉土峴迄
▲第十一逕　粉土峴より鳳頭村後迄
▲第十二逕　鳳頭村後より鳳頭村上迄
▲第十三逕　鳳頭村上より退逸里迄
▲第十四逕　退逸里發午後八時金谷里御墓所著

▼豫習儀進行の順序

十四日擧行されたる永成門洪陵間豫習儀行列進行次第左の如し

▲第一逕　午後二時永成門出發東大門内迄
▲第二逕　東大門内より安甘川迄
▲第三逕　安甘川より洪陵入口迄
▲第四逕　洪陵入口より洪陵紅箭門内へ同日午後六時頃着



◇憲法發布三十年記念祝賀會(上)天皇陛下御名代閑院宮殿下會場御著(中)奉迎の文武百官、右より齋藤海相、河野廣中氏、加藤高明子、伊東巳代治子、野田遞相、元田鐵相、中橋文相、床次内相、山本農相、田中陸相、加藤海相、原首相(下)饗宴場第一列左より犬養毅氏、床次内相、北白川宮殿下、大岡下院議長、第二列左より原首相、朝香宮殿下、竹田宮殿下、中橋文相

○八百の議員『憲法萬歳』を高唱

嚴肅の裡に和氣漲る

青山練田原に憲法發布記念大祝賀會の催された十一日　陛下の御名代として台臨の閑院宮殿下の御馬車が青山一丁目に差掛つたのを合圖に練田原の會場では正門から御車寄までの御通路の兩側に正裝した貴衆兩院議員が

◇綺羅星のやうに整列して御迎へ申した前後に近衛騎兵の供奉した御行列が會場正門の大緑門を入ると八百の議員は齊しく頭を下げる夫れに對して殿下には一々馬車の中から擧手して御答禮遊ばすので頭の高い議員は惶てゝ低うして奉迎が濟んで式が始まる記念館内大式場

◇正面玉座に面して上下兩院議員が參集すると間もなく御名代宮殿下には黑田貴族院副議長の先導で正面に起せられる際として輝く式場内五十餘個の電燈が殿下背後の金屏風に美しく反射する處で貴衆兩院議長の賀表朗讀が濟み黑田副議長徳川議長代理の發聲で一同聖壽の萬歳を三唱し終ると殿下には特に姿勢正しく一同に對せられ上體を御曲げになつて答禮遊ばし又式終つて御退場に際して殿下から

◇先きに禮を成されたのは誠に畏れ多い感がした式後食堂が開かれて陸海軍樂隊の奏樂裡に久邇中將宮、竹田大佐宮、北白川少佐宮、朝香少佐宮の四殿下の左右に原首相以下各大臣、貴衆兩院議長、元田、寺尾、河野、杉田、齋藤(實)井上、犬養、加藤(高明)等諸氏花井の來賓諸氏が卓に着き宴半で四殿下を始め一同盃を捧げ大岡衆議院議長の發聲で『帝國憲法萬歳』を

◇三度高唱した國家の萬歳や陛下の萬歳には耳慣れて居る八百の議員も力の籠つた憲法萬歳の聲には餘程深い印象を受けたやうな面持であつた(東京)

○日光の山火事

損害は莫大ならん

◇御用邸附近　十一日午後三時頃栃木縣日光町字澤金山大久保より二町上なる字長澤山より突然發火し折柄の烈風に煽られて火は見る見る附近の樹木に燃移り午後五時頃までに

◇二十四町歩の山林を燒拂ひ火勢益猛烈にして驅付けたる消防隊も手の施す術なかりしが附近五六町距る處には日光御用邸あり日光署よりは係官多數出張し日光町消防隊日光電氣製銅所の

◇消防隊を指揮し必死となりて防火施備を爲すと共に一方消火に努めたる爲め辛うじて午後十時十分に至り三十町歩を烏有に歸せしめて漸く鎭火したるが燒失せる樹木は大林區署植林の

◇檜林及び落葉松の林なるが灰燼に歸せしめ其損害も莫大の見込みにて目下原因と共に調査中なり因に御用邸及び附近にありたる山林造營物は無事なりしも御用邸は現場より僅かに五六町を隔つに過ぎざりしと烈風なりし爲め一時は大騷ぎなりし(日光)

◇洪陵遷奉行列豫習始まる

○遷奉行列豫習始まる

黄白紫紅の彩り鮮かに搖れ　大輿小輿永成門より洪陵へ

◎眞紅の朱雀旗まづ動き……

洪陵遷奉行列豫習の儀は豫定の如く十四日午後二時から執行された出發點なる西大門町永成門の内外には未明より掛員擧軍引軍其他の人夫等續々來集し大小輿、竹織馬其他の葬具一切夫々の位置に移し正午頃には殆んど出發の準備整ふ先づ門前には大輿、小輿を容るべき布張りの

▽大遮日　を二箇所に設け其下には絢爛眩き許りの大輿、小輿を置き、擧軍引軍指揮者等夫々の祭服姿にて出發の時刻を待つ。門内には白、褐色、鼠色の竹織馬の如き俺章、黄色燃ゆるが如き網張りの黄日傘、白虎旗、玄武旗、白鶴旗等夫々名の如き動物を描ける大旗種々の鉦、鉾、旗、軍扇類等黄白紫紅の彩り鮮かに各位置に立て連ねられ、相呼び相應ふる

▽人夫の　聲喧々囂々と耳を聾するばかりである。出發の時刻迫るや行列の進路なる鍾路大通りは見物の群集の爲めに全く埋められ爲めに電車の運轉さへも不可能ならしめ。斯くて愈々午後二時出發時刻に係員の先導にて眞紅の朱雀旗先づ進路に出で續いて行列は順次に動き

▽長蛇の　列電車通りに出で大輿小輿竹織馬等も恰かも浮標の如く觀衆の頭上を掠めて遲々として進行し觀衆雪崩れを打つて行列を追ひ混雜熱鬧を極む。斯くて鍾路に至る行列は春の如き暖光を浴びて群衆の雪崩に押されながら清凉里の洪陵へ向つて行つた。

○海兵十一名溺死か

＝死體二名發見　軍艦平戸の慘事

舊正月を迎るべく第二水雷戰隊の旗艦平戸は過般新兵に對し休暇を與へたれば皆省して久振りに父兄妻子と會し舊正月を迎り十一日午後八時までに歸艦すべく吳に向ひ内七十一名は第一上陸場より二隻のボートに乘りて本艦に向ひたり然るに此夜月は天に在りしも雪深く殊に波交りの雨に加へて西の風吹き荒みたれば左なきだに闇き海上は

物凄き　迄となりたれど水兵等は日頃鍛へし腕にオールを操りつゝ、猛進し軍艦石見の在泊せる附近に差しかゝりたるに又もや激しき突颷吹起り打寄する激浪と返す荒浪のため三角形の怒濤を起してボートは呀といふ間に沈沒したり各艦及び港務部にては斯と見るより救助船を派し探海燈を各艦上より

照射しつゝ、救助艇の活動を扶け極力收容に努めたるが遂に十一名行方不明となりたり因に同艦長は小山大佐にして其の行方不明者左の如くなるが内二名は十二日の朝死體となりて浮き何れも大の字形に凍死せるさま哀れ深し

▲二等水兵田村太郎▲三等水兵山田忠之助▲三等機關兵二戸源吉郎▲同杉本忠志▲四等機關兵田中喜松▲二等水兵野瀬隣戸▲同川口清三郎▲同明石三次郎▲二等機關兵原信太郎▲二等機關兵宮崎十平▲二等同藤原平一

○黑田侯夫人

貴族院副議長黑田長成侯夫人きよ子(侯爵一條忠香氏姉)は流行性感冒にて十三日逝去せり享年四十九歳(東京特電)

○大連の火事

損害三萬圓

十三日午前五時志道小三郎方より出火六戸全燒午前九時鎭火損害約三萬圓木造バラック建の箇所燒失せり(大連特電)

○南大門通火事

旭組の倉庫

十四日午後二時四十分南大門通五丁目旭組運送店倉庫より發火し常備消防隊其他の消防組驅付け消防に努めたる結果幸ひに延燒を免れ同三時二十分鎭火したるが原因損害額は取調中

○麴屋殺し控訴公判

十七日開廷

麴商殺しの都野川義雄の强盜殺人事件は第一審に於て死刑の判決言渡したるに服せず覆審法院に控訴中の處愈十七日午前十時より塚原裁判長等田陵事係にて公判開廷さるべしと

○鵞口瘡五百

釜山の牛鵞口瘡は十二日檢疫所にて三十八頭釜山鎭にて十一頭の發生を見之にて累計五百十六頭の多きに達せり(釜山)

○淨土宗涅槃會

十五日午後一時より本町三丁目淨土宗別院に於て釋迦涅槃會を修行『聖者の示教』と題して大町理事及び吉村理事の法話あり

○連絡船入座客

○十三日午前八時入港新羅丸二等客……

天氣　京城地方　晴時々曇

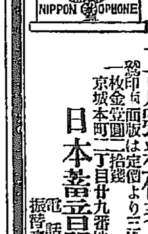
婦人日常の手引

家庭顧問

二月號　一冊十五錢　定價半年送料共八十錢一年一圓八十錢

本誌の化粧研究　二月の家事　▼御飯の研究　▼お惣菜料理　▼子供の被服　▼新しい家庭　▼今後の婦人美(宮田修)　▼家庭の秩序　▼處女期の婦人病　▼婦人美の研究　小說

東京市麴町區　化粧調査會



二月號新譜　發賣

京城本町一丁目廿九番地　日本蓄音器商會　電話一四〇二四番　振替京城六八二番

大新ト鐘新

財界一部ノ不振ト和議ノ經過ハ小株大ニ詭陣シ極度ノ悲觀相場ヲ現出ス而モ鐘紡ニ於テハ何等恐慌ノ因ヲ認メズ當然ノ反撥ヲ期シテ……第十六回ヲ組織シ……御參加セラレン事ヲ勸ム

申込期間二月廿四日迄　加入金一口五拾圓

日本信託證券部

第十六回　株式(大新鐘新)買同氣會

內容說明書及會則贈呈

大阪市北區堂島濱通二丁目　電話北長一九〇四番　北長九七一番　振大四〇〇五九

內科　小兒科　村上病院　京城永樂町一丁目(商品陳列館前)　院長　醫學士　村上龍藏　電話六一二番

◎吸入瓦斯發動機讓受タシ(中古品ニテ廿馬力ヨリ卅馬力位)製作所、使用年限、機械履歷、附屬品有無價格等至急通知アリタシ即時買入ス　外ニ五十馬力ボイラー壹個

朝鮮木浦幸町二丁目　川村鹿吉

呉服屋の半値段で買る譯　織元－仲買－市場－問屋－呉服店－需要者

◎弊店は皆樣の御便利を計り全國直接販賣開始……各地の需要者間に大評判を博して居ります……御申込次第珍柄の良品選定の上代金引換便にて御送り致します

栃木縣足利町六丁目(振替東京三三五二七番)　丸登足利織物合資會社

○朝鮮統治の状況(六)
大正七年に於ける諸般施設

交通(一)

◆鐵道　朝鮮鐵道現在營業哩は千百二哩一分にして大正七年中に於て新に營業を開始したるは平壤炭礦延長線十哩一分なりとす。此の内七哩三分は曩に小野田セメント製造株式會社に於て專用鐵道として敷設したるを借上げ既設線と共に大正七年五月五日より運輸營業を開始し、更に同月末を以て右借上線中七哩洞美林間二哩八分の買收を行ひたるものなり。大正七年度より敷設に着手すべき咸鏡線永興輸城間二百八十三哩一分の内南部永興間四十二哩二分は大正七年六月、北部輸城鏡城間二十二哩八分は同年七月孰れも線路建設工事に着手し、中部城津端川間二十五哩八分は同年四月線路の實測を始め十月を以て城津停車場構内の地築に着手したり。右の外建設工事としては曩に開通したる咸鏡線元山永興間龍興江橋梁及び其前後十七哩等の工事を完成し、滿會間假橋梁十五箇所の鋼桁架設並に會寧機關車庫の增設其他諸般の工事を施行し、又京元線及湖南線に於ける殘工事を施行したり。改良工事は京釜線に於て大正三年度より引續き施行中にして大正七年中に於ては更に永同伊院間及び沃川前後併せて六哩三分の區間に於ける線路並に停車場改築及南大門水色間直通其他の工事に着手したり

◆運輸　運輸狀況は一般經濟界の進展に伴ない旅客貨物共に著しき好成績を擧げ大正六年十二月より大正七年十一月迄の一箇年間に於ける乘車人員七百九十九萬餘人、此の收入七百二十三萬圓に上り、前年同期に比し人員に於て二割七分、收入に於て四割一分を增加し、同期間に於ける貨物取扱噸數は二百二十萬餘噸、此の收入七百九十四萬圓にして前年同期に比し噸數に於て九分、收入に於て四割四分の增加をせたり

◆賃金　賃金の改正に就て見るに小荷物賃金は從來內地と同樣なりしが鐵道院に於て大正七年九月一日より約二割四分の値上を爲したる結果朝鮮鐵道に於ても連帶輸送の場合に限り從前の如く兩線哩數通算の上右改正賃金を適用することゝせり。又貨物運賃に關しては朝鮮産穀類の輸移出を獎勵し併せて滿洲産穀類及び豆粕の朝鮮通過を助長せむが爲め從來此等の貨物に對する運賃を低減したりしも時局に因る船腹不足の影響は海運賃の暴騰を來し之が爲め鐵道運賃は船舶運賃よりも遙に低廉となり其間に尠からざる懸隔を生じ益々鐵道貨物輻輳の勢ひを加ふるの實狀なるを以て、貨物の漸騰に對する分配を調節し併せて滯貨疏通に資せむが爲大正七年十一月十一日より大正八年五月十日迄二百六十三哩以內の各海港地行穀類運賃を低減し此の間從來の海港差特定賃金の適用を停止することゝせり。右の外從來の特約特定運賃の改廢整理を行ひ以て經濟界の實情と時世の進運とに適應せむことを期せり

◆滯貨　滯貨疏通の方法に就ては從來事の大小を論ぜず極力之れが手段を盡したりと雖も出荷愈々多くして滯貨は容易に減退の模樣なく五、六、七月の四萬噸を除くの外大體に於て六、七萬噸を持續するの狀勢を示せり。而して前年の計畫に係る新造車輛は材料輸入上に障碍を受け未だ復舊の設備を見るに至らざりしは遺憾とするところなるも貨車の配給、貨物積載、積卸の方法に關しては一層の改善を試み、又關釜連絡船の輸送力を補はむが爲釜山濱山汽船を介して阪神方面行き貨物連帶輸送の取扱を開始し、出穀期に際しては支線の列車を幹線に振り替へ一面、釜山、大邱、永登浦に野積保管場を增設して荷主の利便を圖れり

◆米穀　米價の暴騰に際しては公共團體又は救濟會の申出に係る米穀類に對し運賃の低減又は急送の取扱ひを爲し軍隊輸送に依る輸送力減退に際しては米穀、薪炭等の日用必要品に對し特に優先輸送の方法を執りたり

◆運轉　列車の運轉に關しては大正七年七月一日淸會線以外の各線に亘り運轉時刻の大改正を行ひ旅客貨物の實況に應じ列車回數を增加すると共に旅客本位の列車に對しては運轉速度、停車時分の減少を圖り一面本支線接續其の他運行上の整理を爲せり。右時刻改正後軍隊輸送實施せられ一時本線及び支線に於る一般交通列車の運轉回數を減少するの止むを得ざるに至りたり

◆輕鐵　輕便鐵道及び軌道は地方の開發並に都市交通の發達上何れも之れが企業を獎勵し、一般運送を目的とする輕便鐵道にして特に保護を必要とするものに對しては從前より資本の年六歩に達せざる益金の不足額を補給せしが經濟界の實情に鑑み大正七年度より其の率を年七歩に高め且つ補給期間を大體十箇年と定め、一層之れが普及を圖らむことを期せり。而して此種の鐵道は年と共に其の發達を示し大正七年中に於ては一般運送用輕便鐵道馬山松汀里間、院村全州間計二百四哩並に鏡城羅南間、鏡城朱乙溫間六哩七分、專用鐵道九件二十八哩の敷設を許可し、又輕便鐵道及び軌道八件六十五哩の運輸を認可したり

○航路復活請願
◆群山商業會議所より◆

群山商業會議所は先年廢止せられたる政府補助の內地朝鮮間命令定期航路の神戶、下關、門司及び木浦、群山、仁川、鎭南浦、朝鮮西海岸に寄港する大阪鎭南浦航路及び木浦、群山、仁川等朝鮮西海岸寄港の橫濱鎭南浦間命令航路の復舊を期すべく其の名を以て右命令航路復舊請願書に請願理由を附し內閣總理大臣、大藏、農商務、遞信各大臣、長谷川總督、貴衆兩院議長宛請願の手續を了したり(群山)

○道廳の斡旋で 試に滿洲粟を 忠北三郡に輸入す

近時食料問題に就ては社會一般頗る恐慌を呈しつゝある折柄米價は依然として騰貴し一層の高値を示せるも調節の餘地なく高潮に慣れて比較的沈靜の狀態なるが當淸州の如きは米産地として他方面よりは割安なるにも拘らず現今精白は四十何錢となり一般の困憊甚だしきを以て當局に於て之れが救濟調節を圖らんがため試に滿洲粟二千一噸約二百石を購入し鐵道沿線たる沃川永同淸州の三郡に配付し販賣者を指定して供給すべき策を立て近く着荷の筈なりと因に價格は鳥致院著二十六圓位なれば淸州著運賃を見越て二十八圓見當なるべし(淸州)

○平元線急設建議
衆議院に於て　牧山耕藏氏演說

(平壤より元山に接續する鐵道)

右は西部朝鮮に於ける大商工業地たる平壤と東海岸の要港たる元山とを連絡し內地朝鮮滿洲の連絡に日本海橫斷航路を介して內地朝鮮滿洲間に於ける新なる一大幹線を設くるものにして之が爲に我國中部滿洲間の交通距離は著しく短縮せられ同時に內地及び鮮滿間の交通上平壤以南に於ける現線鐵道輸送力の不足を補ひ釜山經由線と相俟て複線作用を爲すものとす尙本線は西に於て平南線に依りて西部朝鮮唯一の良港たる鎭南浦を連絡し黃海を隔て遙に支那山東省に呼應し又北方は遠く浦鹽港に到り特に咸鏡線を以て露支國境に達すべく朝鮮の開發並東亞の經濟交通上其の急設を要する重要路と認むるを以て政府は速に之が建設に關する方策を講む本建議の主旨が達成せられむことを望む。右建議す

本員は朝鮮平元鐵道急設に關する建議案の提出者と致しまして簡單に提出の理由を申述べたいと思ひます、平元鐵道と申しますれば、諸君御承知の如く、西部朝鮮に於ける一大商工業地である平壤と東海岸に於ける要港である元山と連絡致しまして、日本內地朝鮮滿洲の間に大幹線を設けんとするのであります。日本海橫斷航路を介して、日本內地と滿洲との間に、最も短距離の通路を設けますことは、我が大陸經營の根本義でありまして、實に刻下の急務なりと信ずるのであります。國防上より見たる平元鐵道の價値は姑く措きまして、平元線の經濟的價値の絶大なることは到底一朝一夕に述ぶることは出來ぬのであります、單に平元沿線に就てのみ見ましても、其物資の豐富なることは非常でありまして、此沿線に於きましては森林あり、無盡藏の石炭が藏して居るのであります、其他幾多の特産物が此鐵道に依りまして開發されるのであります、又內地朝鮮滿洲を連絡致しまする最捷路としての平元鐵道の使命に至りましては、更に大なるものがあると信ずるのであります。日本內地の方面から見ますれば滿蒙に於ける貿易の覇權を握つて居りますのは、本員が更めて申しますまでもなく諸君御承知の如く、大阪及神戶方面で、之に亞ぎまして名古屋方面であります、又北陸地方、東北、北海道等より致しましても、其商取引が輸送經路の最も短い平元鐵道に依りまして、商取引の敏活と圓滑とを期せんと致しまするとは見易き道理であります、又之を滿洲の方面から觀察致しますれば、近時滿洲開發の進歩と共に、多大なる物資が彼の方面より吐出されるものでありまするが、此巨大なる物資は、唯單に大連港に依る南滿鐵道と、釜山港に依る朝鮮縱貫鐵道のみを以て致しましては、到底完全なる輸送を爲すことが出來ぬのであります。第四十議會に於きまして帝國議會の協贊を經、國庫補助の下に朝鮮郵船會社が日本海橫斷航路を開始したのは、諸君御承知の通りであります、然るに朝鮮鐵道の輸送力が不完全なるが爲めに、遙々京城を迂廻致しまして、滿鮮の物資が元山を經由して、日本海橫斷航路に依つて居ると云ふことは御承知の通りであります、此一點を見ましても大陸に於ける交通機關が甚だ不完全であると云ふことが分るのであります。即ち平元鐵道の建設は日本海の利用に於ける幾多の經濟的施設中、最も重要なるものゝ一ッは、日本海の利用に平元鐵道の活用であります、而して元山の築港工事は、今大正八年度に於て完成致すのであります、此機會に於て平元線の急設を見まするときは、實に絶好の機會なると信ずるのであります。本院に提出せられまする幾多の鐵道敷設に關する建議案は、何れも重大なるものであることは申すまでもないのでありますが、特に本案は新たに帝國の領域に加へられました朝鮮の開發、並に東亞の經濟交通上に於て、緊急且つ必要なる鐵道なりと思惟致しまするが故に、何卒諸君に於かせられましては、滿腔の同情を表せられて、本案に御贊成あらんことを切に希望する次第であります、尙ほ詳細なる點は、幸に本案が特別委員に附託せらるゝ光榮を得ますれば、其席上に於て詳密に陳述致したいと思ふのであります(拍手起る)

○古書畫
李舜臣の書や
◆朝鮮古名畫千點以上◆
珍らしい高麗燒の筆洗其他

慶南晉州豪農朴在杓氏は朝鮮に珍らしい古書畫骨董を多く藏してゐる人で同氏は常に京城方面の舊家を歴訪しては値に構はず貴重な書畫を買集めてゐるが其數殆んど一千幅以上に達し就中珍品としては李舜臣の書、謙齋、玄齋の大幅六枚續きの密畫等で其他同氏の秘藏せる高麗燒きの筆洗に至りては天下一品の定評があるといふ事である

○勇敢なる消防手
挺身して拔群の功

平壤署に於て特に功勞を表彰されたる消防手がある、ソレは去る九日午前一時十分頃平壤府鐘路陶器商吳相默方より出火した時拔群の働きをした消防手があつたのである(平壤)

此の勇敢なる消防手は白賀赫といふ者である、同夜白消防手は折柄の劇寒を冒して巡回中前記火元の家に於て異樣の物音と共に出火せることを發見したので同家の戶を破れんばかりに叩き起したが寢靜まつた同家では容易に起き出づる樣な氣色が見へぬので同消防手は其足で近隣の精米所を漸く叩き起して急を告げ自身は直ちに平壤署へ急報したので常備消防隊が出動したのであつた所が此の時水道の

消火栓が凍付て

ホースを取附ける事が出來ないので一同苦心してゐると突然出水したものであるから附近は一面に湖の如くなつて今度は消火栓の在る所へ行く事が出來なくなつた、斯る策盡きて如何ともする能はず非常に困難してゐる折柄、此の白消防手は

氷點下二十何度の

防手は奮然身を挺して冱寒を物ともせず滔々として迸り出づる噴水の下に躍り入り始めて漸く消火栓を取付けた爲め烈々たる猛火に對して放水することが能きたので此の勇敢に消防手の機敏なる働きは實に消防手の模範とすべき行爲であるといふので白消防手は其功勞を表彰された

○農家の懷が溫て
商業資金に放資する傾向

昨秋來米價の奔騰は逐月其度を昂め殊に本春に入りて益々騰騰を重ね再び調節の聲を聞くに到りしが爲め一般農家の經濟狀態は頗る潤澤に經過し平南平原郡の如きは道內主要の米産地として農民の富裕の異例を示し地主小作人共の手許遊金多く此を預金するにあらず總て

秘藏し置く者多く

金融經濟上不利の點少からざるを漸く自覺せし農民等は現時商業資金に投ずるもの非常に增加し大地主の如く組合的組織の下に相當の資財を出し米穀取引業を開始するもの多く又小作人等にして小商賣を營むもの漸次に增加の趨勢を示し來り殊に租稅の如き殆ど滯納者皆無と言ふも過言にあらざる狀態にして郡民中には此際內地觀光を主張するものさへ十餘名の多きに達し居れり尙ほ從來籾のまゝ搬出せし同地の産米は

本年は玄米として

鎭南浦に搬出せん計畫あるもの既に十五六萬石を計上され居るも一方在庫米多く頗る調和み氣味にて在庫米多く同時に順調裡にあると同時に産業開發上亦見るべきものあるに到りしは洵に喜ばしき現象と云ふべし(平壤)

○平元線の解決と 平壤の土地熱
◆俄ブローカー增加す◆

近時平壤は諸工業の勃興と平元鐵道速成問題にて非常なる人氣を呼び內地及び各地方より入込むもの多く暴利を貪るもの不當の買占を爲す者簇出するのみか素人筋の土地熱旺盛を極め俄土地ブローカーを營む者多き狀態なり(平壤)

○物價騰貴と 藝者の値

一寸した玉は三千圓以上

今は昔モルガン紳士が祇園の花たるお雪を落籍したのが大枚の四萬圓、處が大正の今日では女一疋何萬圓と云ふのは敢て珍敷も何ともない、現に平壤の千代鶴も一萬圓で羽根生た時節である、東京や大阪へ行けば何萬圓と云ふ値打の女は澤山ある、扨ても我平壤の綺麗首連は什麼相場で抱へられてるだらうかと調べて見ると、高い藝者と云へば去年まで平壤で千四百圓が最高位であつたが其後段々昂騰を重ねて今では二千圓以下ではお座敷へ出す資格のあるものがゐない、平壤で二千圓以上の藝者と言へば四五人今度七星館が抱へんとして居る妓は二千八百圓だと聞く若し內地へでも行つて些し何うかした玉を連れて來ようと思へば先づ〳〵三人で一萬圓とは米ぬ隨分騰つたが女の相場も騰つたものである(平壤)

○姑に苛められて
自殺せし哀れな嫁

平安南道中和郡中和面東民里金光三の妻池龍女(二〇)は去る大正六年三月現在の處に入嫁せるものなるが其姑なる朱光錄が同女を虐待するより居堪まらず再三同面に在る實家に歸りて其の旨を實父に訴へたるも今少し辛棒せよとて都度宥めては歸宅せしめ居りしが同女は到底此の虐待を忍ぶ能はざるより遂に死を決し去る舊年末即ち一月三十一日住宅より約二十間位を隔たりたる共同井戶に投身して自殺したりと(平壤)

○發狂者を毆殺
鼻から松葉で燻す

平安南道寧遠郡成龍面漸洞里に住む行者鄭京祚(三)は同里なる劉成官(二)といふ精神病者をクイシン(鬼神)の祟りなれば之を祓つてやらんとて劉成官を棍棒にて毆打し半殺しになしたる上尙も手足を縛し鼻腔より松葉の煙で燻したる爲め劉成官は苦みたる揚句虛空を掴みて悶死したるため鄭京祚は取押へらる(平壤)

○産業工藝博へ(平壤)　來る三月八日より五月三十日迄東京に於て開催せらるべき産業工藝品博覽會に平安南道より出品すべきものは大豆(平壤種)にて出品者は平安南道順川郡順川面倉里李始馨氏也

○輸送難と新炭
撫順炭も輸送難

平壤某新炭商の談によれば現在新炭價は昨年に比し大したる昂騰を見ざるも氣配尙强氣にして當分は到底下落する見込なしと云ひ居れり右につき聞く處によれば需給相伴はざるに起因せるもの多く現に某所には十分の持品を有せるも目下運輸捗々しからざる爲め品物を有しつゝ居れるの狀態にあれば之が完全に輸送せらるゝ迄は到底下落の見込なしと云ひ居れり尙撫順炭の如きも現在缺乏を來たせると云ふ程に至らざるも一般に在荷少にして大口取引を見ざるは之又輸送難の結果に外ならずと(平壤)

◆兩性問題◆
平壤　高橋照藏寄

去りながら分業は尊卑の標準にならない、天分の同じからざる點を以て優劣を定めんとするは公平を缺く事となる、權の高下とか價値の優劣などは男女間に定むべき問題でない、手ッ取早く云はゞ一家の中若し不幸にして主人が缺ければ大黑柱の拔けた樣になり主婦が亡くなれば燈の消えた闇夜同然になるではないか、『婦夫』と考へて見れば男と女とは物に裏と表ある樣なもので離して考へる事は出來ないものである『ノ』丈でも字にならず『ヘ』丈でも字にならず『ノ』と『ヘ』とが組合うて『人』といふ字を成す樣に男女の關係は相賴り相補うて互に長を貸し短を借て往く所に人生の尊い意義がある譯で人類の生命力も恁うした生活の裡に保存せられ又發展せらるゝものである、若しも不幸にして婦人の職能が男子を凌ぐ樣な事となり、又男子が橫暴であつて婦人の領分を犯すといつた變調を呈する事あらば其社會は早晚自滅するより外の運命はないのである、夫れで男女兩性の天分を徹底的に理解して各々異なる『性』の理想に向つて啓導指導の任に當るは教育家及び宗教家の責務であると信ずる

(四)

遺憾乍ら我國の精神界に於ては兩性の問題を徹底的に研鑽し此が理想を明かにし靑年男女を倫理的に指導する眞面目な學者は誠に少い樣に思ふ成程性慾の關係などを生理學的に研究して公にしたものは少くない、又戀愛を文學上の見地から說明した學者も多いのであるが倫理的に或は宗教的に『性』の意義及び天分を徹底的に批評したり論述したりして『性』に就て無知であるの迷妄に陷つて自ら悟らざる世人を覺醒せしめんとする識者は殆ど無いと云つても宜い位ではあるまいかと思ふ、近來婦人問題なども研究する傾向が我思想界に著しく目立つて來た事は誠に喜ぶべき現象であるが、併し兩性問題を徹底的に解決し倫理的に向上せしめた上ならでは百の婦人問題も空論に了りはせぬかと思はる、道學者的の見地に立つものは靑春に燃ゆる現代の靑年男女の心理狀態を理解するには餘りに頭腦が舊すぎる、左ればとて自ら新しがる人々の解釋も當の問題の心核には觸れて居らない心地する、今の處此の兩性問題は濃霧の裡に乘り掛つた樣な姿で進むとも退くとも出來ないで居る樣に思はる、其の間に坐礁したり破船したりするものが頻々と起るのは止むを得ない次第と云はねばなるまい

(五)

見られよ、世の中には性慾を濫用して恐ろしい應報を顏面に印せられて逢ふ人毎に破倫の罪を責められてゐるものが至る所にあるではないか、又貞操を泥足に踏み躪つた揚句世間から爪彈きされてゐるものも能く見るではないか、家庭が亂れ夫婦の愛情が冷切つた處に不良少年の出來るのも物の腐敗した所に蛆蟲の生ずると同じ譯である位高く豐なる家庭の奧には遣る瀨ない煩悶の淚に暮てる婦人が少くない、表の鬪が如何に嚴めしくあつても他人に對しては威嚴を造つても又社交界の花と歌はれても家庭の裡に煩悶があり相續すべき子女が不良の習ひ性となつて居る樣では忠君も愛國も皆己を僞り人を欺く贋者似に過ぎない、斯る人々も法律の網にさへ掛らねば金の權力と位の威光で相當に待遇せらるゝ現代の世態人情は實に寒心すべき事ではないか、證する所兩性問題を徹底的に理解せず數多の誤解と迷妄を抱いて此の問題を扱ふ結果は種々の不幸と苦痛を家庭の裡に齎し又人格の上には慰すべからざる疵を受けて終生の損失となつて居る、然るに教育家も宗教家も『觸らぬ神に祟りなし』といふ態度で教壇からも法壇からも曾て此の問題に就て權威ある警告もせず、口を噤んで聞せず焉と濟ましてるのは教育家宗教家の使命に於て缺くる所なきかを疑ふ

世界の戰亂も克復して永久の平和を謳じ世界文運の上に一段の向上を見んとする今日に於て予は世の教育家宗教家に望む所は此の兩性問題を徹底的に研究して誤れる靑年男女に人生の奧に秘めおかれたる此問題を倫理的に理解せしめて我國民の生命力を純潔にして無限に向上發達せしむる動力を養はるゝ樣切望して止まざる次第である

○中島の妻自殺
◇原因に就て聞く處に依れば

七日のんだら きゝめがわかる
婦人靈藥 惠命湯
冷性 子宮病 けつ血の道 ヒス テリー 産前産後 月經不順 手早くなをる不思議の藥
中込は端書一本ですぐ藥がのめる
惠命湯
大阪市堺筋八幡筋北 專賣 山口藥院

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
入院隨意 酒井婦人病院
電話一八番 一六〇〇番　酒井一郎

おもしろい程きく かぜ つゝうに ねつ
荒川の カギヤピリン
彼是と手遲せぬ樣直服用あれ 現今の流行かぜには頗る妙
丸藥と散藥とあり◇小兒には又專用の小兒用カギヤピリンあり◇にせもの注意
發賣 ◉十錢◉廿錢◉卅錢◉五十錢◉壹圓
本舖 名古屋京町 藥品問屋 荒川長太郎
◉全國到る處の藥店に販賣す◉無くば無代郵送す

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行 振替貯金口座京城三三三番 電話六〇番
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、羅南、會寧、安東縣、奉天、新義州、滿洲里、齊々哈爾、大連、靑島、長春、開原、四平街、遼陽、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、旅順、上海、天津、龍井村、鄭家屯
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

漬物問屋 大阪市南區新戎橋筋電車通 商號 森內商店 電話南三〇三七 振替大阪三四〇二

京城本町二丁目 川合時計店 電話一九一八 振替京城二二一

金牌受領 本椿香油 男女頭髮用 本椿ポマード 毛を黑く長くつやを出す 赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ 本舖 大阪西橫堀

第二十一回決算

貸借對照表

資產之部

科目	金額
拂込未濟資本金	一、二五〇、〇〇〇・〇〇〇
興業費	[illegible]
興業費未決算	[illegible]
貯藏品	[illegible]
支店未達金	[illegible]
受取手形	[illegible]
假拂金	[illegible]
未收金	[illegible]
有價證券	[illegible]
保證物件	[illegible]
銀行預金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部

科目	金額
資本金	九、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
準備積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
使用人退職手當金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
契約保證金	[illegible]
身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂金	[illegible]
前期繰越金	五五、六一一・二三〇
當期純益金	三九四、九〇七・〇八九
合計	[illegible]

利益金處分計算

科目	金額
當期利益金	四〇九、九〇七・〇八九
內 興業費償却金	一五、〇〇〇・〇〇〇
差引純益金	三九四、九〇七・〇八九
前期繰越金	五五、六一一・二三〇
內 準備積立金	二〇、〇〇〇・〇〇〇
別途積立金	二〇、〇〇〇・〇〇〇
使用人退職手當基金	五、〇〇〇・〇〇〇
役員賞與金	一〇、〇〇〇・〇〇〇
株主配當金(年一割)	三三七、五〇〇・〇〇〇
後期繰越金	五八、〇一八・三一九

大正八年一月
東京市日本橋區新右衛門町拾六番地
京城電氣株式會社
取締役社長 大橋新太郎
專務取締役 木本倉二
取締役 白石直治
同 山口太兵衛
同 白石寅一
同 伊藤幹一
監査役 下郷傳平
監査役 平澤道次
同 荻原源太郎

右調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ認メ報告候也

追而監査役任期滿了ノ處前任者平澤道次荻原源太郎ノ二氏重任シ新任候也

商況

東京株式特電
十三日後場引値
東株　一九九、三〇　同新　一七〇、〇〇　東船　［illegible］　同新　［illegible］　商船　［illegible］　郵船　［illegible］　同新　［illegible］　東紡　［illegible］　鐘紡　［illegible］　同新　［illegible］　富士紡　［illegible］　同新　［illegible］　日石油　［illegible］　寶田　［illegible］　明治製糖　［illegible］　北海炭　［illegible］　第一新　［illegible］　第二新　［illegible］　東拓　［illegible］

東京現株中値
十三日中値
東拓　七六、五〇　同新　［illegible］　南滿鐵道　一六一、〇〇　（以下数値［illegible］）

東京期米特電
當限寄付　三十九圓六十二錢　中限寄付　三十九圓八十八錢　十三日後場　十四日前場　三八、七〇

大阪株式特電
十三日後場　宇治川水　京阪電鐵　東紡　合同紡　鐘紡　山陽製鐵　同新　郵船新　商船　同新　日本米穀　東電株式　大阪株式　同新　日紡　滿鐵　［数値 illegible］

大阪三品特電
十四日前場　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　三八二、〇〇　三三三、五〇

大阪期米特電
當限寄付　中限寄付　四十圓八十五錢　三十九圓六十錢　日後場　十四日前場　三八、四九

下關期米特電
十三日前場　寄付　高値　安値　止め　［数値 illegible］

兵庫期米特電
十三日後場　寄付　高値　安値　止め　三八、八九

雜報

●**三品氣迫し**　大阪三品は當限三百八十二圓先二十三圓にて、綿布は三十五錢に向ふ……［illegible］

●**銘先物十圓八十錢**　［illegible］

●**正米漸警戒**　昨午後以来持合ひの市況を呈し……［illegible］

●**買織鮮商の思惑**　引續き商內又も低く……［illegible］

●**過ぎたる腹八分目**　……［illegible］

●**機遠の此反動思惑者の頭上に落下**　……［illegible］

●**支那粟亂調高値十八圓三十錢**　……［illegible］

●**安値先行き案漸次押下**　……［illegible］

●**麥粉は軟弱**　……［illegible］

●**多少の値切りは利模く底意弱含**　……［illegible］

●**香料市況閑散**　歐洲各地產地よりの入電は……［illegible］

●**毛斯次物小高**　……［illegible］

下關相場
●朝鮮米　……［illegible］

各地商況
仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店

●大邱米況（十三日）　……［illegible］
●木浦米況（十二日）　……［illegible］
●群山米況（十三日）　……［illegible］

京城正米
……［illegible］

南大門廻穀
……［illegible］

仁川正米
……［illegible］

生魚市場
京城日丸市場　……［illegible］

安地摺玄米三十五圓五十錢
……［illegible］

釜山相場（十三日）
……［illegible］

仁川期米
十四日前場　漸く不勢
先三十八圓七十五錢七錢安
寄付……錢更に五十八錢瓦落
……［illegible］

市場雜觀
成の振合　筋の總買ひに下げ賢　仲買店は鮮人　群山の有力筋は釜山買物

各驛の米の山京釜線　暴落正米崩る大

……［illegible］

仁川米豆取引所　十四日の四月限
……［illegible］

入電毎に安　大阪頭重

……［illegible］

仁川米豆取引所仲買人　倉重慎輔

京城朝鮮鐵道時刻表（京釜線・京義線・湖南線・京元線 他）［illegible］

毛谷村六助　卅六番角力　百四十三回
桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

博勞新地の彌兵衛は酒を飲みながら孫六の話を聞いて　彌『それじや孫六、市兵衛の處で金を借りて旅籠屋へ泊つたのか　孫『然うでございます、それから翌日馬を牽いて歸つて來ましたが、何うか序の時に俺の子分が世話になつた禮を云つて田中の親方へ一兩返しておくんなさい　彌『大變な野郎だな、手が附けられねエ、然ういふ調子で孫六は彌兵衛の宅に居りましたが、馬の鑑定は巧者で金儲けが旨い、儲けた內を己が秘して置くなどいふことはいたしませんで、殘らず親方の前へ出すといふ正直者、彌兵衛夫婦も信用をする、又友達と鳥渡飲みに行くにも懐中に金があれば他人には出させない、錢離れが宜いのに理智者と來て居て何をさせても衆に優れて居りました、孫六が十八歳の時でありました、彌兵衛夫婦が孫六を呼び　彌『孫や、今日は少しお前に話たい事がある　孫『何んでございますか親方改まつて　彌『他事じやないが、知つての通り俺には子供が無い、乃でお前を養子にしようと思ひ、婆さんとも相談をして、子分にも話しをした處別に苦情も無いね、善は急げとやら、然ういふ事は早く極める方が宜いと思つてお前の腹を一應聞いて見るのだが、何うだ俺の跡を嗣いではくれめねか、お前が承知をすれば此の家は讓つてしまひ、俺達は側に附いて居ては厭だらうし、此方も又側に居て見れば小言の一つも云ひたくなる、乃で他所へ隱居を建て別になつてしまふ、何うだお前の了見は　孫『有難う存じます、けれども親方私には少し望みがございます故もう二三年捨てて置いて下さい、少し苦勞をしなくつては他人の交際が出來ません　彌『然うして置いて何うするのだ　孫『親方何うぞ私に三年暇をおくんなさい、一と通り廻つて親方の手を離れて稼業をして見たいと思ひます　彌『偉い、何うだ婆さん聞いたかね　婆『本統に感心だね　彌『お前が然ういふ覺悟なら一と廻り廻つて來い、それに種馬は幾頭でも牽いて行け、千金で買つた駒も拳を切つて放して見なければ剛膽は判らない、早速出懸けるが宜い、門出は陽氣にして遣らう　孫『それは親方叶けません、出る時に景氣が宜くつて歸る時にコソ〳〵なぞは賞めた話でございません　彌『成程　孫『乃で澤山の小遣ひに種馬をお買ひ申した處で仕方がございません、今度の旅は自分に何の位の腕前があるかを試して見るのでございますから、少々の小遣ひに種馬一頭で澤山でございます』總て云ふ事が變つて居りますから彌兵衛も感心をした、是から孫六は五兩の路用に種馬を一頭牽いて　孫『何うか皆さん宜しく云つて下さい』と彌兵衛夫婦に別れて長濱を出まして、それより途次馬を賣つたり買つたりして二三へ儲け出して十一頭牽くやうになつた、其の馬を牽いて尾州清洲へ入り、あれから美濃路へ入つて金華山岐阜の城下へ參りました、此處に伯樂の親方角右衛門といふ者がありまして其處へ草鞋を脱ぎました、此の岐阜は其の頃織田信長の在城でございます　孫『時に角さん、當時織田様の馬御指南番は何と被仰る方で　角『馬の御指南をなさる方は土手一番町に御住居なさる加藤孫兵衛様と被仰る　孫『ヘエー加藤孫兵衛様……角さんお前さん知つて居るのかね　孫『イエ、何に然うではございません』と云つたが意の中で今まで探ねて居た親とも思ふ伯父の權兵衛であつたかと喜びましたが、色に出さず　孫『其の方にお目にかゝつて幾何か聞きたいと思ひますが　角『それが第一だ、幾何か遣つて置いたら宜からう　孫『それでは然ういふことにいたしませう』て角右衛門の家を立出ました

●**寂しい舊正月**（晋州）　晋州にては例年舊正月には笛、太鼓等にて喧噪を極め、妓生組合の演藝會開催等にて地方よりの出市鮮人等にて市中殷盛を極むるの例なるが本年は李王家喪中のこととて何等の催もなく市中寂寞たり

●**野犬狩**（大田）　大田警察署にては來る十五日より野犬の撲殺をなすことなりたるより飼主は頸輪を付け名札を下げ置くにあらざれば野犬と認められ撲殺せらるべしと云ふ

●**倉庫會社新設**（天安）　京釜線天安は年々其發展著しく殊に米豆の移輸出最も盛んなる場所なるに鼠倉庫以外に完備せる倉庫なき爲め商人の不便甚しかりしため有志十日天安小學校に集まり天安倉庫株式會社を組織せんとて其大部分は發起人に於て引受け來業の目的は倉庫業を第一とし金融運送保險代理委託品買賣等を營む目的にて創立することに決せりと

●**大谷派慰問使**（西伯利）　派遣軍慰問の爲め西伯利へ出張せる大谷派慰問使本願寺法主代理として特派せられたる信應院大谷瑩誠師は文學士佐々木秀雄、布教使淺野正道氏等と共に本月三日浦鹽に來着し其間西伯利出張の爲に就きたるが近日入城、慰問宮に於て南山本願寺にて講演會を催す筈

二月十六日（日曜日）（舊一月十六日）
晴曇南、▲佛滅、▲鬼宿、▲二黑、▲九紫
▼九紫▲油斷なり難き日なり稍もすれば玉石と化するが如き事あり
▼一白▲物事の兎角捗どらぬ日也
▼二黑▲何事も穩に物事の纏る日
▼三碧▲建築上旅行婚禮其他一切に吉也
▼四綠▲思ふ壺に篏る日にて花の如く賑やかなる日何事にも吉なり
▼五黄▲思ひ掛けぬ幸に遇ふ日にして此日は何事に用ゐても吉なり
▼六白▲願つたり叶つたりの日に起業旅行移轉婚禮其他一切吉也
▼七赤▲兎角油斷のならぬ日なり
▼八白▲ちと合點のゆかぬ日なり目上の助けありて或は商外の發展を見るやも知れぬ日なり

書画用　絖画絹　京染呉服商　京城明治町　たまや呉服店　電話一一九六

京城本町　千代田號印舖　電話八一七番

演藝案内

有樂館　十三日より特別公開のプログラム　米國ユニバーサル會社特約……人情劇　磯打つ浪　全五卷　米國ユニバーサル會社特別連續寫眞　第七幽靈船　全三卷　米國……森の朝　全五卷

黃金館　電話（晝間）二二六六（夜間）二六三七　活動寫眞會社京城黃金町一手代理店　二月十五日より特別興行（料金普通）▲喜劇『猫坊主之卷』▲喜劇『出發』▲新派劇　連日滿員　日活會社特作十大悲劇の一　菊池幽芳先生作　新派乳姉妹　松之助扇太郎合同劇　舊劇矢口の渡　大正館

▲新派『殿樣源次』全四卷　▲第三鐵道王の娘　第五、六卷　▲新野崎村

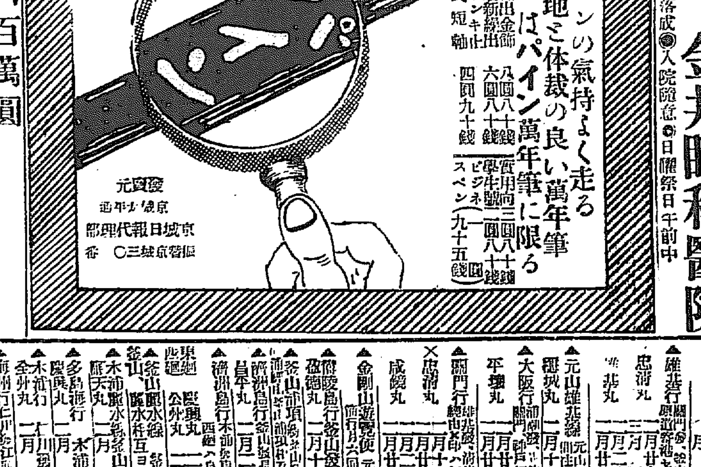
大正館　櫻井町　電話八七三　十一日より（紀元佳節夜間館）▲活劇『懷劍』▲救命機　▲悲劇『乳姉妹』全六卷　▲舊劇『矢口の渡し』

文樂座　本町五丁目　電話二三八　浪花節應用中村福高一行　一月三十日より（午後五時開演）前狂言の鮫鞘古手屋八郎兵衛三十三所壺阪靈現記

浪花館　京城明治町　電話二六〇　京阪合同落語一行　十五日より毎日午後六時半開演　落語　落語　音曲　桂　三遊　落語手踊　笑福亭　落語　手品　橘家圓太郎　少年落語手踊　柳家枝松　落語曲芸　三桝家紋之丞　落語　柳家小東　落語　三升家扇坊　女義太夫　竹本東昇　掛合噺　金原亭馬中　人情噺　桂　大切茶番

人生の快樂を得受せんと欲せば急速第一に對的の使用を絶對にすべし　**エレキ**　使用者は常用を忘れず何處何時にても各藥店に有り　東京築地　五十五錢壹圓　タイガー商會製藥部

資本金六百萬圓　積立金　金百貳拾五萬圓
株式會社　十八銀行京城支店　京城府本町二丁目　電話四一〇番五八〇　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山支店　京城府漢江通り　電話五〇番
同　新龍山出張所　京城府元町三丁目　電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候



眼科專門　京城若草町（朝鮮銀行裏新道路中程）　金井眼科醫院　電一五五六　新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

片山內科醫院　京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）入院隨意　電話片山一九五一番　信夫

大阪商船出帆（仁川出帆）
✕群山大阪行　✕安東丸　二月　日　正午出
✕木浦大阪行　✕信濃川丸　二月十七日　正午出
（元山出帆）
西湖津、新浦、城津、清津行　大信丸　二月十五日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　二月　日　後九時出
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行　須磨丸　二月　日　前六時出
湛北丸　二月　日　後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　毎月一回　北米行　毎月一回　南米行　毎年四回　濠洲行　毎月一回
切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店　京城代理店　仁川代理店

尼崎汽船出帆（仁川出帆）
群山下ノ關大阪行　君が代丸　二月　日後四時出
群山木浦下關神戸大阪行　赤城丸　二月十七日後四時出　大有丸　二月　日後四時出　神代丸　二月廿二日後四時出
仁川港海岸通三丁目（電話五九番）　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
△元山雄基線　△雄基行　△咸鏡丸　△平安丸　△清津丸　△成鏡丸　△釜山濟州島行　△木浦濟州行　△多島海線　△釜山麗水線　△鎭南浦行　△大連、青島行　……［illegible］
本社　京城南大門通　電話長一一〇七
其他各寄港地ニ於テ取扱

京城日報 第五版

…三十三國にして之れを朝鮮明治に比すれば砂川に於て五十八萬四…
◆輸移出 米二十六五、三三二、六其他豆類六九〇、一三〇魚類四、八九五煙草四二肥料一、七二其他六七、五五九計七二五、〇三六 [illegible]
…於て破壊前艦隊の任に當りし日本軍艦數隻ポートランドに到着し乘員五百人倫敦に來りて觀光をな…

聯盟植民地管理は大國の陰謀

在東京 吐峰生

◆豫定の通りウイルソン君の企劃は缺落しかけたり、日本のウイルソン崇拜黨も今や少しく目醒めたる模樣に候。兎も角國家の爲事は國民の仕合せに候。

◆日本人は西洋を過信し、西洋人に心醉する癖を有する點に於て、天下一品と云ふべく、西洋は日本に於て初めて忠實なるお弟子を得たる譯に候。ルーズベルト全盛なれば舉つてルーズベルトに心醉し、ロイド・ジョージ優勢となれば猫も杓子もロイド・ジョージを崇拜して止まず

◆最近ウイルソン氏が一山百文の正義人道論を提唱するや、基督の復活、お釋迦樣の再現以上にウ氏に傾倒し、日本語の有りッ丈けの讃辭頌辭を奉りたるにあらずや。ウイルソンの片言隻語は宇宙の法則、世界の原則が確立したかに受け取り、ウイルソンにあらざれば夜も日も明けざる如き信仰振りを發揮したるは、實に正直なる我日本人に候

◆然るにウイルソンの近狀を見よ、彼は日本よりマーシャル、カロリンの二群島を奪はんがために國際聯盟を提唱し、又彼の正義人道論は、世界の弱國をして米國の號令下に服せしむべく、彈奏したる一の音樂に外ならざるにあらずや。如何に正直なる日本國民も明白なる此の二大事實を窺視するには參らず候

◆吾人は思へり、講和會議は先づ獨逸に向ひ損害賠償を先決問題とし、國際平和會議は、第二段第三段の會商に讓る可しと。然に巴里の講和會議は、今日迄何を爲したるや

◆彼等は敵國獨逸の存在を忘れたるものゝ如し、而かも彼等の或者は孜々として自國の野望を貪らすべく、驚くべき秘密外交を敢てしたるにあらずや、彼等は敵を忘れたり、味方も忘れたり、小弱の利害休戚の如きは固より問ふ所にあらず、問題は强き者益々强く大きもの益々大ならん事に腐心せるのみ

◆彼等は何故に秘密外交に浮身を窶したるや、彼等は何の必要ありて國際聯盟や植民地管理論を提出せるや、近時の國際政局を識るものは、先づ此の謎を解かざれば何事も解し能はず

◆疑ふを休めよ。これ實に彼等の陰謀なり。彼等は國際聯盟てふ假勢力を作興し、以て敵も味方も此の勢力の命令に服從せしめんと欲する也、故に彼等は强國間に秘密外交を試み、各自に利益を分配して先づ同志の結束を固めるなり

◆國際聯盟を以て、世界永久平和と思ふは、泥棒の念佛を見て道心堅固の聖者と做すの類也、彼等は自國の利益を圖り、他の小弱國を强制し壓迫せんが爲に之を發案せり、故に成否曖昧の國際聯盟に託するに先づ獨逸植民地管理てふ非理不都合を敢て爲す所以に候

◆吾人は是等の小策が、主としてウイルソン氏の發議に原因するを認め、氏の所謂正義人道論や自由平和論に格別の興味を覺ゆる一人に候、世界好事者多し、ウイルソン崇拜者の感想果して如何、安價なる共鳴者は常に安價なる失望と落膽とに陷らざるを得ず、故に吾人は謂はんと欲す『懐中物御用心！』(二月八日)

憲法發布に關する山縣老公の談話 (二)

又た親王の祿制の若きも從て其の利を立てざる可からず況ゃ法令の條款之れを頒布施行したる明晰疑なき者之れを集纂し之を政府の行政に徵し之れを議院の權限に照し之れを司法の判決に歸し且つ各部の庶政に考るも首尾相合し左に原に逐うて齟齬扞格の患なき者之れを宣布して國民と共に之れを遵守するに足るべきなり如此者は必ずしも難事たるに非ず而して行政議政司法の三權分立するは今日に在し略々其規模を成せりと雖も一層之を嚴正にし其區域を定め行政權をして他の二權を制肘する事なからしめば亦以て之を憲法に徵せて矛盾する所無かるべし如此者は是一朝一夕の能く辨ずべきに非ずと雖も心誠に之を求めて之に數年を假さば漸次の經驗に因て至當の地位に達すべし唯尤も至難たるは君民兩權制定に在り故に維新の誓文に基き遂に明治八年の詔を下し漸次立憲の政體に騁致せんとす於是比年地方官會議を開き今年に至り府縣會の會を開けり是れ事の緒に就く者にして從來の目的を達する順序を得たりと謂ふ可し旣に茲に至る以上は一躍して民會に及ぶも誠に其當なり然れども所謂民會は即ち君民の權を分割する所にして至要至大固より府縣會の比に非ずして又其稍其旨趣を異にする者なり故に此曲にして實行に就かば國憲制定の頭腦を作るが如く其他の衆部に至ては固より難事に非ず夫れ民會は此の如く至重なれば其起立も亦容易に爲す可からず最も以て愼重を加へざる可からざる者たり然れども今日の形勢は早晩茲に至らざるべからざることたるは智者を待たずして知る所なり臣有朋竊に以謂へらく凡そ事の此の如く至重至大にして勢已む可からざる者なりと雖も禍機の關する或は反て大禍を惹くの慮ある者に於ては亦宜しく其言を先にせず其實行を先にすべし暗に其實を行うて實驗に徵し扞格齟齬の患なき時は始て其名を更めて之を宣言する亦晩しとせず故に今の計を爲すに特選議會を開くは蓋し方今政略上に於て策の得たる者たり夫れ特選なる時は智にして賢なる者を選んで之を擢拔することを得ればなり今幸に府縣會の設立あり其議員の者の如きは何れの府縣に於ても見易く知り易き所たり故に此等の人其徳識ある者を拔て之を以て一の會議を開き先づ國憲の條件を議せしめ併せて天下立法諸權の事項に涉らしめ之を數年の經驗に試みて果して以て立法の大權を容するに足れりとせば其時に至り變して民會となすも可なり或は特選議會の名を設けず府縣會中に投票を以て二三の員を選び一の議會を設立するも共宜しきに從ふべし又已に經驗を試みし上は各選選の法を參伍錯綜し歳月を以て民會に至らしむるも亦可なり如是議會は固より始より民會の名を假さず其集合解散の權限は猶政府の手に存して而して議決する所も必要事とせずと定むべし然るときは或は曰く是恰も二の元老院を設くるが如く是て徒に冗錄靡費を倍するに似たりと此の言理あり然れども元老院は皇族官吏の四五等以上に至るの人材を待つの所とせば亦全く同般の者たりとせず況んや朝廷心誠に之を求めて來覽に民會に變ぜんとするの目的あるに於てをや或は又曰はん此の如く權限を狹小にすれば議會は徒に政府官吏の意に阿從して些に益なきが如しと是亦恐らくは其萬一を望む可からず唯方に是よりして端緒を開くを得る者なれば豈一概に排せん又或は之を以て權謀に出づと云ふあらん然れども是固より政略にして事を愼重するの誠意に出づ凡そ天下の事正經のみを以て之を經せんや事苟くも以て其利を得れば是則ち正經なり是此議會を起して從來確乎たる民會を起すの基礎となすの大意にして其節目の如きは固より玆に悉くすべきに非ず然れども果して此方略に因て民會も漸次に成立し憲法も從て確乎するに至らば前に陳ずる所民心の政府を疾視せざる政令に甘心せざる動もすれば猜疑を抱くの三患將に時弊に就て縱ひ變動あるも民心に固礎す畏思なからんとす是臣區々の心相愛の至に堪へず一たび 陛下の爲めに之を言はんと欲する所なり抑も臣が縷述する所以の者は唯政略の活動を以て樹てんと欲する所に非ざれば之が爲めに若干の時日を與へざる可からざる者あり之を要するに先後緩急あるも以て民心を收攬し政略の順序を得せしめんと欲するに外ならず [illegible] 法あり以て民心として繫足するに足るの術あらしめば臣亦其れが言はん然れども臣の以て陛下の爲めに謀る所の者は前文の外更に念慮あることなし是臣が忌諱を顧みず縷言して此に至る以なり臣有朋謹で啓す

明治十二年十二月廿六日

(板垣伯著自由黨史拔)

かくて元老は明治十四年國會開設の詔勅の降りし當時の事情を回顧して大隈參議の建白に依りて廟議沸騰し十月十一日車駕東北御巡幸より還幸あらせられたる即夜直ちに大臣參議の會議を開かれ議直ちに決し翌十月十二日國會開設の詔勅を發せられ大權中心の憲法を制定するの大方針の確立するに至りしは實に容易ならざる事情の存在せるものにして其の間に處する先輩諸賢の苦心言語に絶するものありし旨を物語られたり

老公の談話の一節に曰く當時明治二十三年を以て國會開設の期と爲せるは種々の理由もありたれども一には明治元年生れの者も此の年には二十三歳に達することなるべしと思ひたればなりと予は斯の言を聞きて憲法實施後三十年の歴史を顧み又目下の状況を考へ合せて先輩に愧るの感慨に堪へざりき。老公又曰く予は明治二十一年の自治制の成れる後歐洲巡遊の命を受け彼の地に遊べるが歐洲諸國の學者政治家が皆口を揃へて日本に於て立憲政治を行ふの尚早にして失策なることを說くに合ひて一驚を喫せり獨逸にても毎日グナイストの講義を聽けるが同博士も諄々として日本に來年より立憲政治を行はんとするは誠に無知なる不得策なりと說かれたるが道理を推し事實に照し言悉く肯綮に當りたれば成る程と感じ愈々我が立憲政治の活用に入らば如何に困難ならんかと憂慮に憂慮を重ねたり。歐洲諸國の政治家學者が立憲の前途にして困難なるを說きたる内の面白き一挿話として老公の物語られたるは墺太利にて或る饗宴の席に其國の大臣某卓上の饗號の形を成せる葉卷煙草の置きありたるを取上げ來年より貴下は之を持て議會に臨まれざる可らずと云へるは一笑話このみは聞くを得ざりきと

老公曰く予は最初議會に對する政府の首班に立ちて此困難なる事業に當るべしとは夢にも豫期せざる所なりしに歐洲より歸朝するや明治二十二年十二月內閣總理大臣に任ぜられ第一期議會に臨みて憲法實施の局に當らざるべからざるに至りし時の予の憂慮苦心如何ばかりなりしかは想像に餘りあらん其實に心血を灑ぎて完璧を期したる準備の爲めには閣僚有司と共に寢食を忘るゝに至りしかも議會の多數は漫りに政府に抗するを目的として豫算に對し過大なる削減を加へんとし憲法の運用も動きの取れざる有樣に陷らんとせるには實に困り果てたり殊に予は如何にもして第一期議會より解散を行ふが如きことなからしめんと決心したれば其苦心は容易ならざりしなり歐洲巡遊中彼の政治家學者は皆第一期議會は解散に了らんと豫言したるなり予は極力解散を避けて憲法運用の圓滿なる進行を圖らんと苦心したり。老公は當時を想ひ起して嘆息に堪へざるものゝ如くありき、誰れか斯る胸中を知る者ぞ。老公終に慨然として第一期議會にはかく非常なる爭論を爲したれども當時の議員は其の議論の當否は別として皆其態度熱心誠實にて反對者と雖も之を敬服せしむる勢なりしも顧みれば時勢は眞に一變したるかな利己主義に流れ廉恥を重んずるの風地を掃て空しくかくては邦家の前途も危からんと切言せらる。予は老公の健康ならんことを衷心祈り、我等年若き者は一層粉骨碎身全力を盡さゞるべからざるを覺りたり(法學博士上杉愼吉氏記)(完)

財界の新舊人 (23)

高野省二君 (下)

西海生

三井物產支店長

三井物產の仕事は何しろ多方面に及びその關係する所汎き爲でもあるが、何か商事上の事で總督府の當局や、陸軍や鐵道などに交涉事が起ると、大抵君がその代表者に推され折衝をしてゐる、左樣な方面に口を利く人として君は適任である、背後には三井と云ふ大きな勢力があるし、調和的な、又對者を惹附け得る手腕も有つてゐる、腰もよく折れば言葉も叮嚀である、更に朝鮮商界のためならば而して自分で出來る事ならば、代表者として一肌ぬぐ事を辭せぬし、熱心に奔走する所謂世話好きの所が一面にある、君が隨分色々の商敵を有し、陰では兎角の批評を受くるに拘らず、何かと云へば代表者に持ち上げらるゝのは、君の地位や才識の低からぬ故でもあるが、一面に於ては其厄介を意とせぬ世話好きな所から來てゐるのであらう

こうせ

▲[illegible]の支店長としては手堅い間違ひない人である、然し常に色々な方面に研究調査を重ね修養を怠らぬ人ではないやうだ、從つて君には脫俗的品格の多くを見る事が出來ぬ、君は遂に俗人たる範疇を出で得まい、然し俗人としては大俗人である、又君は京城支店長として終る人ではあるまいが、さりとてズット以前に京城支店長をしてゐた小田柿捨次郎君の如く重役に上つて行く程の人材とは思はれぬ、朝鮮では一寸仕事をするにも他人の口がうるさくて閉口すると君の述懷で、或は自由に手腕の揮へる別天地に轉ずるのではないかとさへ云つてゐる人もある、然し色々な方面に段々手を伸ばし又根を張つて行く所を見れば滿更さうとは思はれぬ、又事實君の如き小忠實に財界の世話を燒き、事業の計畫を樹て得る人を朝鮮から失ふのも少からぬ損失である、當分その在鮮を望みたいとは商界多數者の聲のやうである

▲頭は相當に好いのであるが、君の話を聞いてゐると、商賣人に通有な要領を得にくい所がある、これは己の口から出る事の他に及ぼす影響を深く案ずるからであらう、唯だ云ふ事は容易に要領を得ぬも、すべての方面の實行は中々敏捷にして、又極めて要領を得て居る、君の前任者の淺野君は溫良の君子で、謙讓、多少の失策はあつたやの噂もある、然し君はそれらの點に於て手ぬかりは殆んどない、これ君の來任後前任者の遣り口に比し、多少批評の出た所以であらう、然し今日の商賣人として商賣は上手、從つて金儲けも上手らしい、然し散ずる方は君が花柳界に散ずる程他の方面にも綺麗であるか否かは若干疑問を有せる人もある、唯部下の世話はよく見るやうだ、家庭もあり、蓄財もあり、京城紳士中の資產家であらう

▲嗜好は三味線などの音曲を聞く事と俠客傳を讀むのとあると君は云つてゐる、君の料理屋行きの多い事は音曲趣味より來れるものであらう、又君が年來鍾愛せる某と云ふ藝妓は音曲に堪能な所より君の愛顧を續けてゐるのであらう、唯君が殆んど默然たる愛妓を有するに拘らず、去年部下に風紀振肅の示達をしたとか云つてゐる社員もあつたがそんな事は大した問題であるまい(完)

戰後手形交換

昨年の交換激增

昨年中に於ける全國手形交換高は五百三十二億七千三百餘萬圓にして前年に比し二百十五億餘圓即ち六割七分八厘の增加を示せり

▲此原因は 時局に伴ふ一般的商取引の隆昌に在ること勿論なるも就中(一)物價騰貴(二)預金の增加(三)貿易額並に正貨の增加(四)有價證券拂込の增加(五)コールローンの增加等は其の主なる原因と爲さゞるべからず蓋し物價騰貴による手形交換の增加は敢て說明を要せずとして

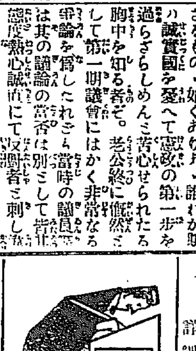
▲全國預金 の總額を按ずるに其總額は四十三億七百九十六萬一千六十三圓にして之を前年末に比すれば十三億三千七百餘萬圓戰前の大正二年に比すれば實に三十二億餘圓の增加を示せり預金の增加は即ち銀行の信用の膨脹となり延いて手形利用を增加するに至るは多辯を俟たず昨年中に於ける

▲對外貿易 は前年に比し無慮十億圓を增し正貨は七億圓を增せり是等は直接には手形交換高に何等關係することなきが如きも間接には多大の關係を有するは亦論を待たざるべし其他各種有價證券拂込額は十一億餘圓を算し又昨年中コールローンの激增せるは顯著なる事實にして一日平均一億圓以上に達せることは稀有ならざる所の如く各種經濟の膨脹は手形一枚の平均額に於ても前年の一千圓は一躍して一千七百圓に達したり以て全體の金額の增加の一般を推知するに足るべし

▲翻て本年 の交換趨勢如何に就きては人に依り樂悲兩樣の觀察あるも戰亂熄後の今日に於ても未だ何等手形交換の上に變化を表現し來らず本年一月の交換高は反つて前年同期より約十億圓の增加し更に本月に入りても漸次增加の勢ひを示し一日平均七千五百萬圓を支持する狀況なれば此趨向より推せば今後も必ずしも交換額の著しき減少を來すべくも覺えずと心强く樂觀せる向多きが如し(京元)

本紙定價 壹箇月金六拾五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible]

日本體操學校 市外大井町
願書八三月卅一日限(電話高輪一八〇二)
詳細八一月廿八日官報參照



私立女子美術學校 生徒募集
◉裁縫科◉日本畫科◉西洋畫科◉刺繡科◉造花科◉編物科
刺繡科及造花科高等師範科卒業生は無試驗檢定の特典あり
裁縫科普通師範科卒業生は裁縫及手藝に就き中等教員受驗資格あり
◉新學年四月九日開始◉設備完全なる寄宿舍あり
規則書希望の向は申込あれ
東京市本郷區菊坂町

法制研究會編
鮮人日 文官普通 判任見習 雇員巡査 試驗問題集
發行所 京城本町二丁目 振替京城二〇參 ウツボヤ書店
■菊半形紙數二百二十頁◆定價金五十錢◆送料四錢
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年度以降最近に至る迄の前記各試驗問題を蒐集し多數の應試者をして試驗の狀況及程度を知らしめ必勝の幸福を與へんと欲して編纂せるものなり應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所少にあらざるべしと信ず
賣捌元 京城太平通 振替京城二〇〇番 京城日報社代理部

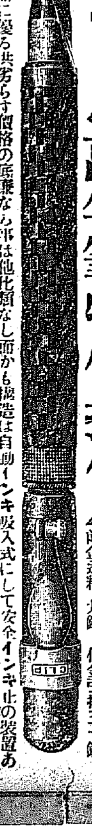
唯一本邦獨習容易成功確實
簿記通信教授
▲寄宿通學部 自宅獨習部 男女生徒募集 本科四ケ月卒業の上責任紹介就職せしむ
採用申込多數目下入學好期
大阪市天神橋筋西貳丁目六一九 簿記會計學館
規則郵券二錢見本添付請求

李太王殿下の國葬儀も目睫の間に相迫り種々御準備に御餘念なき折柄當組合に於ては當日御供品として最適當正式なる純白の生花を以て調製したる……
花輪並に 眞榊根付共

廉價を以て差上申すべく目下組合員を內地に派し材料蒐集中に有之候處調進上の都合も有之御希望の御方は至急御注文願上候
京城和泉町一丁目(大和町龜吉方)(電話 [illegible] 五九番) 京龍園藝組合事務所
京城明治町東洋拓殖會社橫清香園內(電話三馬五番) 京龍園藝組合出張所

購買 總督府遞信局
競爭入札 一、毛布 壹百五拾枚
詳細ハ二月十五日ノ本府官報ニ在リ

軍馬拂下期日變更公告
前ニ廣告セシ十六、十七日ノ軍馬拂下期日ハ十八、十九日ニ變更シ一日ノ賣拂馬數ハ約七十頭トス
龍山臨時軍馬檢疫所


正十四金 保險付
ゴール萬年筆特價提供
▲特價壹圓六拾錢 ▲前金送料九錢 代金引換三十錢
品質の優秀なる事歐米品に優る共劣らず價格の低廉なる事は他比類なし而かも構造は自動インキ吸入式にして安全インキ止の裝置あり運筆輕妙體裁高雅眞に是理想的萬年筆なりと誇言して憚らず官公吏及新進事務家諸子は用ひて事務能率の增進を計らるべし學生諸君は拭りて以て貴重なる時間と勞力の節約に供せらるべし敢て薦む
東京市京橋區弓町十七番地 電話京橋一六五一番
發賣元 福田商店(振替東京二〇〇〇七番)

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增

大阪府堺町 宅合名會社 攝津灘工場吟醸

(最新刊)
熱狂的大歡迎
戀の哀史 須磨子の一生
秋田雨雀 仲木貞一 著
生きて女の勝利を誇り死して千古のロマンスを殘せる名女優の面影！
定價壹圓四拾錢 郵稅八錢
(感想執筆者)伊原青々園、吉井勇、長谷川時雨、森律子、楠山正雄、上司小劍、原信子、正宗白鳥、初瀬浪子、正富汪洋、中村吉藏、市川猿之助、松本雲舟、松居松葉、河合武雄、[illegible]、梅田きよ、町田尾仙、桝本清、川村花菱、坂本紅蓮洞、大谷竹次郎、山本久三郎、[illegible]諸氏……本文三百十頁の外に松井須磨子役譜及舞臺寫眞版三十頁を添ふ
發行所 東京市本郷區弓町 振替東京九六七八番 日本評論社
鮮滿特約店 京城本町 巖松堂書店

祇園繪日傘
長田幹彥氏著 竹久夢二氏裝幀絹表紙美本――定價壹圓參拾錢送料八錢
壹の卷出來
作者の祇園を題材とした作品は美しい京阪の風土記である。今日迄に發表された約六十篇の傑作を集めて茲に此全集が編まれたのである。艶麗暢達の彩筆を以て長く文壇に覇を稱してゐる作者が友禪の袂に秘められた悲戀の數々を描いた各編は何れも情緒文學の珠玉として大正文學史上に重大なる意義を附與せるもの咎ば柴に流るゝ鴨川のせゝらぎの如き哀艷極まりなき物語は人生の詩美と歡樂の陶醉とを傷み易い若き人人の胸奥に深くふかく刻み込ますにはゐないであらう。
東京芝公園(振替東京一四一七七) 玄文社

富士 トンボ印
輸出向 內地向
醫療用繃帶材料 製造販賣元
大阪市北區堂島北町十七番地
富 上田謙三郎
電話北[illegible]番・振替大阪四五五七三番

第四十一回帝國議會

貴族院本會議（十四日）

徳川議長病氣引籠りの爲め黑田副議長席に着く、氣品高く悠揚迫らず議長として其の其緣充分あり二三報告後日程に入る第一、中山孝兵衞氏請暇の件異議無く許可、次で第二八年度總豫算及關係豫算審査期限を定むる件其他豫算關係諸議案を一括議題に附し高橋藏相提案の說明を爲す次に阪谷芳郎男登壇本年度豫算に從來何頗無き多額の教育費を計上されたるは教育會の趣旨より之を悅ぶされど從來の教育は外形にのみ趨り精神の點を缺く弊あり余は之に就き臨時教育會議にて痛論し建議案として政府に提出せり政府は之を容るゝや否や質す（以下夕刊へ）（東京特電）

長夫人逝去し副議長服喪の爲め先例に倣ひ假議長選擧の手續に關し各派代表の協議あり定刻より遲るゝ十五分十時五分開會、濱頭黑田副議長は徳川議長引籠り中本日も亦其故の爲め登院し難きを以て議院法第十四條に依り假議長を選擧すべしと諮るや淺田德則氏自席より選擧の手續を議長に一任す可しと發議し多數の賛成あり起立を俟たず之に決し副議長は直ちに徳川賴倫侯を副議長に指名し午前十時廿分一旦休憩

同十時卅、開會、徳川賴倫侯議長

◇講和會議危機

佛國の獨逸共和國主張

講和會議は目下危機に瀕せり唯外交術に依りて之を切り拔け得るのみ佛國操觚界は獨逸に對し一層峻嚴の手段を主張し爲めに平和會議の場所を他の中立國に移す可しとの噂を齎むに至れり佛國は獨逸をして將來共和國たらしめんとする手段を執らんと主張せるも米國は全然之れに反對せり尤もウイルソン氏は米佛意見の衝突を一掃すべしと信ぜらる（巴里電報）

◇對獨制裁協定

十二日最高軍事會議は獨逸戰鬪行爲再開を不可能ならしむ可き手段に就き協定せり（巴里電報）

◇休戰條件履行要求

聯合國は獨逸に對し休戰條件の完全なる履行を要求し波蘭に對し政治的侵略を遂ぐる事を禁じ且總ての戰鬪行爲を休止せん事を促せり（巴里電報）

◇ウ氏の提案を容る

軍事會議は十一日も休戰延長問題を討議せり多數委員はウイルソン氏の提案を容れたる爲めクレマンソー、フォッシユ元帥等も稍々其意見を緩和せり獨逸は未だ砲四千門飛行機一千臺を有せりと（巴里電報）

◇聯盟案修正要求

佛國西及び日本は國際聯盟規約草案に就き強硬なる反對を唱へ居る點ありそは著しき修正を必要ならしめ從つて其完了を遲延せしめつゝありと報ぜらる（巴里特約員發電）

◇廣東聯合會建議

支那講和委員に對し

支那國會兩院非公式聯合會は十日在巴里支那講和委員に對し日本の要求を一概に拒絕し難きも要するに諸子は其の職を守り青島還附を請求し同時に殘酷なる要求を撤除し妥協する勿れと建議せり（上海電報）

◇獨假大統領當選

獨逸宰相エベルトは獨逸假大統領に當選せり（巴里電報）

◇西伯利鐵道協定目的

西伯利を平時狀態に復せしむるにあり

米國が公表せる露領西伯利鐵道に關する協定の目的は露領西伯利を平時狀態に復活せしむるにあり而も右は確然たる理解に基けり日米兩國は露西亞の權利又は東淸線に關する支那の權利を侵害せざる意思を表明せるが此計畫は東淸線を含む西伯利鐵道全部の管理を露國人を委員長とする日米英佛伊支各代表者に委任せらる可し（華盛頓電報）

◇無線電信新設交渉

[illegible]大使は[illegible]無線電信[illegible]より日本に向け[illegible]

◇莫斯科の紊亂

莫斯科は過激派の爲め全く紊亂し市民の困難はペトログラード以上なり商店は閉鎖し商人は逃亡し商業杜絕せり又逃走せざりし富裕者は獄に投ぜられ日々多數の死刑執行を見つゝあり（倫敦電報）

◇唐紹儀停戰盡力懇請

唐紹儀は北京英國公使を經て北方が停戰の約を爲しつゝ尙軍事行動を熄めざるを愬へ停戰盡力を懇請する電報を發せり（上海電報）

◇東省實業社債全部東拓引受

東省實業會社社債金七十五萬圓は今回豫定通り東拓にて全部引受けたるが東拓にては之を一般希望者に頒布する事としたり其條項は利率年八分債券は五百圓一千圓三千圓三種の記名利札付にて發行價格は額面全額申込證據金百圓に就き三圓申込期限は二月二十五日迄償還方法は一年据置き明年三月一日より滿二年間に適宜償還すべく申込及び拂込取扱ひは拓京城大連奉天の各支店にて爲すべく決定せるが希望者多數あるべき見込なり（奉天特電）

◎世界產糖減收

最近ウイレット、グレーの調査に係る一九一八—一九年の世界砂糖生產高は一千六百七十四萬六百三十五噸にて一九一四年の生產高千八百六十六萬七千三百九十九噸に比すれば百九十二萬六千七百六十四噸の減少なりと云ふ

▲世界生產狀況 米國の一九一三—一四年の收穫年度に於ける甘蔗糖の生產高は四百九十八萬五千六百一噸にて此內二百五十九萬五千七百三十二噸は玖瑪の產出に係り亞細亞は三百九十九萬二千九百十七噸、濠洲及びポリネシア三十五萬五千噸、阿弗利加四十七萬四千六百六十四噸を算したりしが一九一八—一九年度に於ける米國產糖總額は六百二十萬二千六百三十五噸と計算せられ此內少くも三百六十萬噸は玖瑪に於て生產さる可しと推せらる、轉じて亞細亞方面を見るに其總產額は五百二十五噸なりと期待せられつゝあるが其增加の主たる地方は英領印度（地方的消費を爲すに過ぎざる）並に爪哇にして後者は一九一三—一四年度に比し大約四千萬噸を增加すべしと云へばなり次に臺灣及び日本の收穫は約二倍となれるが比律賓の數量は全く同前なり尤も同島は一九一五—一六年度に於ては三十三萬二千百五十八噸の多きに達したるも爾來天候不良其他の原因より二十三萬噸臺に減退せしものなり更に濠洲並にフイジーに於ける產糖高は一九一七—一八年度には四十四萬八百八十噸に達せしが今年度は三十三萬六千噸を超過する事なかる可く或は一九一三—一四年度よりも稍減少すべきか進んで阿弗利加の生產狀況如何と云へば時局中のそれより約十萬噸以外を增加し結局五十八萬五千噸見當と推せる

▲種類別產額高 尙ほ之を種類別より見る時は一九一八—一九年度の甘蔗糖の總生產高は一千二百三十八萬四千六百三十五噸（一九一三—一四年は九百八十一萬一千噸）にして甜菜糖生產額は四百三十五萬六千噸なり（一九一三—一四年度は八百八十四萬五千九百八十六噸）而して甜菜糖生產額の內北米は一九一三—一四年度には六十五萬五千二百九十八噸を產出せるに一九一八—一九年度には六十三萬五千噸と推算せられ之を一九一五—一六年度の最高記錄七十七萬九千七百五十六噸に比すれば十四萬餘噸の減退なり（東京）

◎哈爾賓の怪事件

[illegible]旅順に押送せられたり事件の内容は固より報道の自由を有せざれども[illegible]の西伯利[illegible]

◎露國最近情勢

過激派軍優勢

聯合軍が露國に對し勉めて內政干涉を避け其戈を緩めし以來過激派は漸次其勢力を增大し東部方面に於てはオレンブルグを攻略し北露方面に於てはリガを占領し今や從來の義勇兵制を放棄して徵兵制を採用し其兵力百萬に達せりと傳へらる

▲東部方面 舊臘に於ける過激派反過激軍の勢力は相比敵し過激軍はウファを占領し反過激軍はペルムを奪還せしが去月二十四日オレンブルク攻略さるゝに及びて露都とアラル海以東の過激軍は鐵道の連絡を有するに至り互に物資の交換を行ふを得可く殊にコハール附近は有名なる綿の產地なるを以て過激軍の重大なる利益を有するに至れり目下該方面の兩軍は烏拉山を界とし、ガイダ、スイロウイ、ッートフ將軍の兵團に對し過激は約十五萬の兵を以てペルム西方よりウファ東方を經てオレンブルグ東方に亘り陣地を占領せり

▲北露方面 アルハンゲル方面にては英佛米伊聯合軍並に露政府チャイコフスキー將軍の兵團に對し過激派は約三萬の兵を以て戰しつゝあり其勢力漸次增大し當面より增援軍を招致しつゝあり

▲波羅的方面 芬蘭及エストニヤ及びリトアニヤ共和國方面に於てはムルマン鐵道沿線よりナルワ、ヴルクの線を經てリガ、リ[illegible]附近に亘り兩軍相對峙せしが近時過激派軍優勢を示しリガ、リタは遂に其占領する所となれり近時反過激派軍はペトログラードを聯合軍にて占領せんことを希望しつゝあり若し之れが實現せらるゝ暁には芬蘭及びエストニヤ共和軍との連絡を見る可く反過激派軍に取り頗る有利なるべし尙波蘭方面に於てはウイナ南北の線に於て波蘭軍と相對峙しつゝあるも其狀況は目下不明なり

▲小露方面 反過激派たる小露政府（キエフ）と北部高架索を根據とするデニキン政府は相連繫して過激派に當りデニキン將軍其指揮官たり目下キエフ地方よりハリコフ北方及びカムイシン附近を經てラタリチ附近の線に亘り相對す此方面の過激派軍の兵力は約八師なりと云ふ聯合軍は已に三四師團の兵力を黑海北岸に上陸せしめ南政府を援助しつゝあり

▲波斯阿富汗 方面に於ては露國と三國々境附近に於て英軍と反過激派軍と連合し過激派軍と相對峙し居りバルカシュ湖方面に於ける過激派軍の優勢は東方面を脅威せらるゝ恐れあるに依り目下此方面の救援を必要と感じつゝあり要するに過激派は各方面に於て逐次優勢を示し其軍隊の內部も稍整頓し來れるものゝ如く近時過激派が聯合軍に屈服せざる限り或は內部より崩壞すべしと推測をなす人もあるも其將來に就ては恐らく何人も逆睹し難かるべし

人種差別撤廢問題（二）

▼何たる矛盾ぞ

陸軍中將 佐藤鋼次郎氏談

人種的差別の不條理なるは予等の改めて言を弄する迄もなく既に一般世人の知る處であらう併し之れを慣慨して居るべき筈の世人が今や此の大問題に無頓着なのは甚だ奇怪至極である之れには

▲何か深い原因 がなくてはならぬ無論大いに有る即ち其の原因たるや二つに分かれて居る其の一は有色人種が白色人種から如何に不公平なる差別的待遇を受けてゐるかの實情を知らぬからであらうそこで之れを對岸の火災視して冷淡に看過してゐることである第二は之れを知りつゝも種々の方面に憚かつて聲を大にする事の出來ぬ所謂臆病者である見よ米國は千九百年布哇を合し南洋のグアム島に儼然たる軍備を施し海軍の根據地としたではないか而して此の度我が帝國の占領せる南洋諸島に對して其の言ふ處を聞くとマーシャル、カロリン二島を十箇年間

▲日本の管理に委する も軍事的設備は斷じて許さぬと何たる暴言であらう我日本帝國としては產業上價値の無い南洋諸島を欲するのは他でもない只々國防上の防備を施したいばかりであるよ

それのみならず西伯利に幾多の犧牲を拂ひ乍ら此の儘之れを看過するさは事であらう之等は白色人種の有色人種に對する冷遇の一例に過ぎないのである白色人種の有色人種に對する差別的待遇は歷然たるものがある今予が耳にした實話を諸氏に紹介して如何に白色人種が有色人種に對して苛酷なる待遇をなしつゝあるかの程度を示して見やう之は或る英國大佐の夫人の話であるが夫人が印度に在つた時彼の地は熱帶地の事とて眠るに甚だ苦痛を感ずる所から每夜

▲印度の土人を してパンカといふ所謂團扇式のものを振して眠るを常とした印度の土人とて雖も人類である以上疲勞の餘り途に居眠りするそこで土人の爲に犬を養ひ若し土人が居眠りする折は犬をして起さしむるといふ風習になつてゐる茲に至つて其虐待の程推知されるが其他此種の事實は

▲枚擧に遑ない 位である我が日本人たるものが之等の話を耳にした以上有色人種の先覺として雲煙過眼視さるゝであらうか尤も白色人種とても決して之れを以て善事として居ないであらう必ずや良心の苛責は受けてゐるに相違ない此際に於て正義人道を楯にして論じたならば此問題の解決は容易であらうと思ふ元來外國人は無遠慮であるに反し日本人は甚だ遠慮過ぎる傾きがある先日某席上で最近米國から歸朝した一外交官の說に依ると先づ國際聯盟の成立を賛成し然る後是れが成立した暁に於て人種的差別の撤廢を求むると何たる卑怯なる言語であらうか何故に斯く迄彼等の鼻息を覗ふ必要があるか先方が

▲無遠慮者で ある以上我れも決して遠慮する處はない先方の心を以て我れも夫れに相當する外交術を施すは當然の事ではあるまいか我は國際聯盟成立以前に於て是非とも人種的差別の撤廢を要求したい我が同胞たるものよ須らく正義人道の聲を世界的に擧げよ予は切に是れを希望してやまぬのである（人種的差別撤廢大會席上にて）（東京支局）

◎朝鮮棉花作柄に就て

總督府技師談

昨年の朝鮮棉作は作柄不良と傳へられ價格の如き諸種の事情に依り稍低調を呈しつゝありしが右は例年に比すれば作柄の稍劣れるは事實なれど決して不良と稱するに至らず當時以來忠淸南北全羅南北道方面の產棉地を視察し總督府技師の談に依れば今年の棉作は第一回にも終りたるは事實にして第一回綿作の收穫額に比し二割內外の減收と觀測せられつゝあり是は全く

▲氣候の關係に 基くものにして第一回開花期に雨量多く結實せずして落花し第二回目以後の開花も亦之が爲め遲延し然るに初霜到來早く遂に適當の成育を得ざりし爲め減收の已むなきに至りたるも品質は良好とは云ひ難きも物が檢查するに當りても必ずしも不良とは認めざる點は云ひ難きも

▲前年と正反對の現象を示せり即ち前年は昂上りの相場なりしが昨年末より本年に掛けては反下りの有樣なり在來棉と陸地棉との關係を見るに在來棉は陸地棉に比し百斤に付七八圓乃至十圓の上値にあり農民は

▲在來棉の有利 なるを唱へ居れるも何ぞ知らん收穫量の多寡に於て陸地棉は在來棉の比にあらず結局陸地棉耕作を有利とするに拘らず只百斤當の相場のみを以て利害を律するは彼等農民の爲め採らざる所なり在來棉が陸地棉に比し高値なるは在來棉は一に地場の木棉相場に比例して高低し陸地棉は大阪ミッドリングの相場に支配せらるゝが爲めなり而して木棉は著しく高値なると農民の經濟狀況良好にして自家用の增加せる爲め需用を喚起せる結果にして又指定價格は競爭入札相場より下値にありしを以て指定價格に何等かの不正手段を構へられ居れる如くに考ふる者あるも之れ又一知半解の見と云ふ可し

▲元來全南と他 とは同一等と云ふも品位に一階級の差あり全南が上値にあるは當然のことと云はざる可からず然れども斯く實制度に不同あるは全く土地の狀況に依るものなるが又一面より見る時は此儘にて放任すべきものに非ざれば早晩何等かの方策に出でざる可からずと考へ居らるゝも非常次に道は棉の事には非ざるも忠淸南道を視察せし際赤米の減少せる事は當局の奬勵宜しきから生るものゝあるを認めたり從來同地方は一合中に赤米二百五十粒以上を混ぜるものは米穀檢查の不合格とせしもそれ以內のものを三等米として先般有府令を改正し大正七年產米より

▲二百五十粒を 百八十粒に改めたるが改正の當初は不合格米の多からん事を恐れしも實際に於ては赤米混入は著しく減少し今日に於ては此制限を此上引上ぐるも不都合なきに至りたるは朝鮮米の內地市場に於ける聲價に好影響を與ふるものにして喜ぶ可き事と云はざるを得ず

◎鮮鐵荷動概況

一月中に於ける鮮鐵荷動き狀況を見るに發送噸數二十二萬二百噸收入七十一萬八千圓にして之を前年度に比較するに數量に於て五萬二千噸（三割一分五厘）收入に於て十三萬一千圓（四割四分九厘）を增加せり尙其出荷の主なるものを擧ぐれば米五萬三百十一噸石炭二萬五千五百九十噸大豆一萬三千四百五十六噸鹽一萬二千三百四十二噸木材八千七百十八噸雜穀八千四百五十四噸礦石七千三百九十三噸等にして次に前年同期に比し增減の著しきものは米の一萬四千八百九十四噸鹽五千二百四十七噸金類三千六百五十八噸礦石三千五百八噸雜穀三千三百八十六噸繩叺二千五百三噸石炭二千百八十二噸等何れも增加し石材二千百一噸の減少なり而して主要貨物の出荷狀況を概觀すれば次の如し

▲米 前月中徐々昂騰の氣勢を示したる內地市場に於ける本品の相場は本月に入りて益々昂騰し再び客年に於ける暴騰的相場を演出するに至れり、蓋し客年度米穀收穫高五千四百六十九萬石に減收の發表と外米の輸入口先困難なるに因るものにして、鮮米に於ても幾分の豐收又た何等影響なく殆ど天井知らずの相場を唱ふるに至れり一方之れが輸送狀況を見るに鮮人陰曆歲末期に入りて相場の暴騰と共に一層出荷を助長し加ふるに北淸北海沿岸航路に從事したる小型船は結氷期に入りて引揚げ來り船腹著しく過剩を來したる爲め海運賃の低下に各船會社の貨物爭奪戰に行はれ延いて各港の搬出旺盛なるを呈するに至り總數量五萬噸に達し前年同期に比し約一萬五千噸の激增を示せり著驛の主なるものを擧ぐれば依然釜山第一位に在りて二萬六百十三噸を算し群山七千五百十八噸仁川五千八百卅八噸南大門三千五百六十六噸鎭南浦一千七百七十八噸木浦一千十一噸等にして連帶は右各海港への搬出增加と共に著しく減退し本月僅かに一千二百九十四噸に過ぎざるの不況を呈せり而して慶山、大邱、金泉、鳥致院、平澤、俊浦、水原、鳥山、論山、裡里、金堤等は發驛の主なるものなり

▲石炭 裂に入り鎭南浦結氷のため平壤鑛業所炭の發送著しく減少したりと雖も一方工業界の活躍と家庭用の需要激增し安東縣撫順炭の輸入殷盛を呈し九千七百三十二噸を算せり新安州發安州炭及び仁川發撫順炭あり總數量に於て前年同月に比し二千四噸を增加せり著驛としては依然龍山第一位にあり平壤、釜山浦、鎭南浦、南大門驛は其主なるものなり

▲大豆 前月中本品の內地市場に於ける相場は底意堅き保合狀態を示したりしが本月に入りて稍下押しとなりて產地搬出を促し加ふるに目先北滿出動部隊の陽邊輸送迫り搗て、歲末に際して搬出し多く前月に引續き輸送旺盛を極め木材及鐵を壓倒し主要貨物中第三位に上れり慶山、大邱、俊浦、平澤、水原、南大門、龍山には發驛の主なるものにして內地直通扱最も多く四千七百噸を算し釜山打切扱四千二百五十噸に達し日本海橫斷航路による元山經由は同月二千三十四噸を算せり

◎內地行滯貨

二月十日現在に依る鮮鐵內地行連絡貨物輸送狀況を京城管理局に就き聞くに左の如し

	在荷數量	一掃期日
▲本州線米原以東行		
前旬以前申込	一、二二一噸	一三日
前旬申込	七五八	二二
本旬申込	五二〇	二八
▲本州線彥根以西行		
同上	一、五四五	八
同上	七一三	二二
同上	八二三	一六
▲九州線行		
同上	一、九一八	二二
同上	六八二	三〇
同上	六〇三	三七
計	八、六八二	

◎鮮銀買金全滅

朝鮮銀行の本店並に壤元山各支店を主とする地金の買入れ業務は昨年夏時より著しき減率を示し居れるが殊に結氷期に入りたる客年十二月以降本年一月の買入れは僅々數千圓臺の少額に過ぎず殆んど全滅と云ふを妨げず之れ屢報の如く金材料の昂騰して低落せざるに拘らず朝鮮銀行の買入る、金の價格は一匁五圓を越ゆざるため持込み來る物漸次跡を絕ちたるなり尙ほ最近京城の市價は匁五圓六七十錢に低落せるか滿洲方面は多少高値なる爲若干の密輸出もあり又直接內地に賣込む者も生じ居れりと

◎京城府協議員會

京城府にては十三日午前十時より協議員會を開き大正七年度の更正豫算を附議せしが原案通り可決確定し同十一時過散會せり

◎野砲兵監動靜

入城中の木下野砲兵監は十三日野砲兵中隊を檢閱十四日京城觀察十五日朝元山經由羅南に向ふべし

◎東拓會社設宴

東拓會社にては十四日午後六時半朝鮮ホテルに饗宴を開き總督府小原農商工部長官以下同部各課長を招待したるが東拓側よりは川上理事を始め各課長列席せり

◎久保局長歸朝 大連へ出張中の京城管理局長久保要藏氏は十三日夜同地發歸任の途に就きたるが途中平壤鎭南浦を視察し多分十六日頃歸任す可しと

人事消息

▲大谷正之助氏 十五日朝來城
▲大垣京通社長 病氣靜養の爲め十四日朝東萊溫泉に向け出發

鳥瞰錄

今回の講和會議に對しても思ひ出さるるは故小村壽太郞侯である▲丁度侯が外相時代の日露戰爭の頃一夜新橋に遊んで老妓の扇面にすらすらと一句を記して與へた▲其句に曰く『更けて遠音のあの三味線が定る思案の邪魔となる』と▲巴里滯在の我講和委員諸君が此の歌を聞いたら定めて共鳴する處が尠くはなからう▲中村進午博士が女子大學の講師になつたのは前任者であつた故奥田博士の推薦だと云ふ▲處が其推薦の理由と云ふのが頗る振つて居るから面白い▲女子大學は妙齡の婦人を預かる處だから美男子では不可い乃ち中村君を最上の適任者として指名したのださうだ▲飛んだ處で妙な推薦に合つて流石の中村博士も辟易せられたとは近來の珍談▲卓上電話は便利だが時によると紛れて困る事がある▲其處で近來米國では之を高く吊るして使ふ事が大變流行して居る▲其れは卓上電話器の其の所に繩を結び電話器のある丁度上の天井へ滑車で通して滑車に前の繩を通し繩の端に電話器と同じ重さの分銅を結びつけて置く▲繩の長さは電話を上に持つて來ると分銅が滑車の所へ行く位にする▲其處で電話を使用する時は電話器を卓上に卸せば宜い▲用が濟んだら手で輕く上へ押すと器はスルスルと上つて好きな所で止つて居る▲電話中吊りの體當▲成る程便利らしい物らしい試しだ一番實用して見ては何だらう

各地に物資の缺乏甚だしく殆くべき物價の暴騰となり此の間に在り[illegible]として防寒用シャツ手袋等を哈爾賓に携帶し行けば裕に旅費及び雜費を償ひ多少の[illegible]

▲一貨車の配給係[illegible]離かるべく嚴重に檢査を爲すに於ては幾多の瞞收賄の犯人を出すに至るべく今回檢擧せられたる二三[illegible]

東京期米電報

十四日後場 當限 二十九圓六十五錢[illegible]

打上げたり 場當限出來不申 ▲中限[illegible] ▲先限[illegible]

仁川米豆取引所

十四日の四月限[illegible]

タダで鷄の説明書本を差上げますから、至急ハガキで御申込み下さい(住所御明記)、追々暑を御勉強なさい利を擧げる時が迫りました、早く鷄の秘訣を利用して五十錢本講義は斯道大家十三氏が各秘訣を公開し永久指導さる
本邦創始 養鷄講義
二坪地一雄十雌年收百圓を得ん、東京日比谷前 大日本養鷄普及會

△繩、叺、莚 珠玉繩ハ永登浦分監手編各種特製
△簑、笠、柿澁 各種取揃 陸軍用達 荒物問屋
●苫アンペラ棕呂繩麻類各種
京城龍山三角地 金川商會 電話六四八番

公債株式現物賣買信託業
株式日報御申込次第送呈可仕候
京城府櫻井町一丁目百三十六番地
新田耕市商店
電話（長）五七〇番 一八一番
電略『ニ』又は『ニタ』

謝近火御見舞
內國通運株式會社京城支店

謝倉庫類燒御見舞
南大門倉庫類燒の際は早速御見舞を辱ふし奉深謝候
京城南大門通五丁目
朝日組京城支店
電話二〇九三番

謝倉庫類燒御見舞
幸ひ一部分の商品損害に止り從前の通り營業可致候
京城南大門通五丁目
萩野商店京城出張所
電話一〇六一番

昨日午後拙者所有の倉庫火災の際は早速御見舞を辱ふし御芳志之段難有奉深謝候混雜中御尊名伺洩れも難斗乍略儀以紙上御厚禮申上候
京城南大門通五丁目
三好和三郎

賣出 二月十五日より
雛人形
京城本町二丁目
松菊屋

相場益々奔騰せんとす！
肥料購入の時季は今！
果樹害蟲驅除豫防の時！
サンソー液の準備ありや？
農蠶具肥料商
京城南大門通
戸田春藏本店
電話長三八六番
振替京城三三七番

◎永成門前の大輿小輿(遷奉行列豫習)

◎米國は婦人の國

百二十日を視察して=笹野校長談

女中に、母親に、事務員に、學生に……

米國より歸朝せる學長團の一人なる京城尋常小學校長笹野豐美氏の土産話に曰く『前後百二十日の在米期間中大、中、小學校及び幼稚園の門を潜ること

△七十有五 夜もゆつくり寢る間もなく追つかけ〳〵參觀し其他婦人の社會事業の状態青年男女を遊ばせる機關、婦人だけの寄宿舍等をも見聞して來ましたが特に私の感じた事は米國は婦人なでは夜の明けぬ國であるといふ事です、何をするにも婦人が眞先に立つ假りに學校などへ行つて見ても十分の八九は校長も教師も女であつて男の校長や教師は極少い。そこで

△家庭に於ける子女の教育も父母親が全部專任してゐる、社會事業も婦人の手によつて經營され、道などウッカリ歩いてゐると赤十字の會員勸誘をしてゐる婦人につかまつて大抵會員にならせられた揚句、一弗づゝ取られてしまふ、こんな樣に婦人の活動してゐることゝいつたら實に話以上であります、小學校方面の實例をあげると日本でいふ父兄懇和會など云ふ名稱を

△米國では母の會と云つて母親のみの會員の中から會長を選び會長から會員に通知を發し月に一同づゝ會合をし自分の子供の教育方針につき一生懸命に研究してゐます、それに一層感じたには在米の日本婦人が二人分も三人分も働いてゐることの事です或處の奧さんは良人は立派な事務所を持つてゐるのに拘らず女中もおかず子供二人を世話した上に炊飯の

△後始末をすると子供二人をつれてすぐに事務所に行き良人の手傳ひをして物を賣つたり會計をしたり、午後四時まで働き詰めてから歸宅し又もや夕食の世話をして子供を寢かしてから自分は一時間づゝ夜學校に行つて勉強する、かうして子供の時代になつたり母親になつたり或は事務員になつたり、學生になつたり、クル〳〵〳〵實に目ざましく活動してゐるには實際感嘆せざるを得ません、それから

△女學生を見てすぐ目についたのは米國の女學生は日本の樣に取つた恥かしがつたりせず非常に明るく快活で無邪氣であるといふ事です、スカートなども膝まで位の短いのを穿いて少年團に對する少女團といふやうなのが出來て居り、カーキー色の揃ひの帽子を冠つて雪中遠足でも何でも致します、教育の方針などは日本とは異なつて、自由に愉快にと云ふが根本らしく從つて教授法なども

△日本とは全然異なつてゐます、其結果に就いては各々國體が違ふのですから何れが是何れが非と云ふ事は出來ませんけれど設備の完全してゐる事だけはたしかに米國の方が優つてゐると思ひます』(京城)

◎國葬と京城府

故李太王殿下國葬當日に於ける京城府民の敬弔方法其他に關しては目下府廳及び京畿道の警務部に於て專ら協議中なるが多分行列通路に公衆便所十箇所を增設すること同附近一帶の大清潔法を施行すること並に各戸軒頭に弔旗を出すこと〻なるべしと

◎初めて著いた慰問袋が

皆朝鮮から發送した者

ウエルフネウージンスクに在る第三師團第二臨時測量部久保田兵一氏(元土地調査局員)より先般同地方を視察せる總督府事務官本岡榮次郎氏宛二月二日附來信に依れば同方面への第一回慰問袋初めて到着し而も其孰れもが朝鮮各地より發送されたるもののみにして在鮮同胞は出征軍人の爲にも近き第一後援隊たる感切實にして感謝に堪へざるものありたりと

◎拂下軍馬の檢疫

疑似鼻疽が三頭あつた

更に三百五十頭來る

十五、六、七の三日間毎日午前十から龍山停車場前臨時軍馬檢疫所に於て拂下ける軍馬三百頭の内百二頭は十三日朝九時二十七分の列車で龍山驛着貨車内にて一泊の上十四日朝驛前廣場に設けられた檢疫所に一頭宛引出され檢疫官高田軍司令部獸醫山本獸醫部長獸醫中村騎兵大尉(二十七聯隊附)等立會の上檢疫を行つた結果

◇鼻疽の疑 あるもの三頭と認め一頭を發見したので直ちに眼球に藥液をさして試驗中であるが若し鼻疽と決定した場合は傳染すると同時に他から隔離する事となつて居る斯うして病馬は白感冒は普通の感冒で賀の札を首に付けて貰つて

◆藁の布かれた臨時厩舍に繋がれた馬は口ボッコに大いに元氣付いて跳ね廻つて居る馬もあれば轉んで永い旅の疲れを休めて居る馬もある附近は軍馬見物で可成賑つた中には入札日を取違へて出掛けて來た者も大分交つて居た尚は軍馬は十五日に百五十頭十八日頃更に二百頭來る事になつて居るから實際の拂下頭數は或は豫定より多くなるかも知れぬと云ふ事である

▼輓馬拂底のこの頃 軍馬拂下係長七十八聯隊の石川歩兵大佐は語る『拂下軍馬はモット早く着く筈であつたが東清鐵道の輸送がうまく行かず些少の遲延を來して着いた何しろ此馬は零下五十度以上の西伯利で働いた上約半ヶ月も車中に暮したので非常に疲れて居る又今回拂下けの軍馬は名古屋の三師團管下で徵發したものゝ彼の地方は總じて馬が小さい樣であるが輓き馬の拂底して居る當地では非常に望み手が多からうと思つて居る』

◎漸次快方に向ふ

山縣老公十四日の容體

山縣老公十四日午前六時の容體は體溫三十七度三分、脈搏六十八、呼吸二十にて十三日夜は平穩の裡に安眠し漸次快方に向ひつゝあるもの、如く平井赤十字病院長も公の容體最早危險期を去れるものと認め十四日午後歸京す可しと尙目下歸京の途にある山縣政務總監に經過良好なる旨打電せるが多分釜山邊にて右電報を接受したるならんと(東京特電)

◎四月下旬迄に獨逸から全部歸還

=先發が白石少佐一行

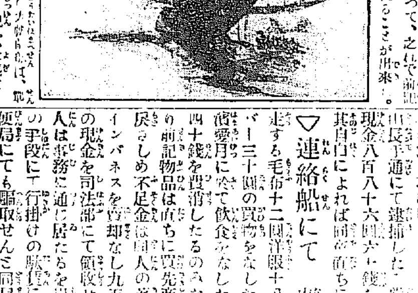
獨逸俘虜釋放せられたる我常陸丸の乘客乘組員全部百二名の先發乘客なる白石機關少佐以下十六名は日本郵船歐洲航路期船伊豫丸にて對米提供中獨逸せる仁川丸乘組事務長澁多見純彥氏以下五十六名と同乘去る七日印度古倫母に安着したるが新嘉坡を經て來る三月五日前後には神戸に歸着すべく殘餘の機關長川合三作氏以下八十一名は前記十六名が倫敦發程當時丁抹コーペンハーゲンを發して英國に渡航し靜岡丸に便乘して漸く去る八日同港發、南下歸航の途に上れる旨最近郵下某所に入電あり隨つて同船神戸歸着は四月下旬となるべく之れにて敵國に俘虜として收容せられたる我同胞は殆ど全部母國に歸還することに確定せり(東京)

米國發明通信 (二)

飛行大帆前船

マンモス空中ボート

大西洋横斷飛行に付いて面白な考へを持つた最初の人は、グレン、エチ、カーチスであつた。其の意味で彼は、自分の飛行機の製作に着手した、その製作に際して自己の飛行機は非常な活動の半面を持つて居なければならぬ、それであるために形體のみならず能材の改良も計らなければならぬと考へて、之等の工夫に入に苦心した、又カーチスが、其の飛行機や組員等の慰安とか安全とかを特に念頭に置いたので、全く別の方に考へを廻らして一層のこと大洋を航走する大船舶と同じ樣に大きく作らうかとして見たが、其れでは、飛行機が空中で飛行の出來ない程重いものに成つてしまふし、多量の石炭は搭載せねばならぬ等の不都合が出來たので、結局海上ボート樣型を採用した、未だカーチスが戰爭の起らぬ前に盛んに試驗して居たが、英政府は彼の試驗用のアメリカ號を買つて、沿海防備に當てゝ大に成功を拍して居た。交互に水上を飛行したり、停止したりする、飛行船、飛行機の兩方の性質を兼帶びた一種の船で、彼カーチスは世界のために作つたわけだ。かこ、水上ボート樣型の飛行ボートは(飛行小型帆前船)は大洋に居るに、飛行は勿論、主として價値あるが、飛行機でも活用し、其形の浮標が設備しても駄目だから云ふまでもなく不可能のことだ。又頭部は、波上高く飛ばなければならぬ、大きな水道の帆前船型のものを採用してこの飛行ボートを飛行帆船に改造した。一名マンモス空中ボートと稱するボートであつて、之れで前記の不都合は解決せらるることが出來た。



即ち、之等の非大な飛行帆前船は、船事の進むにつれて其の實現が、餘儀なくされた。而して其の美點といふ點に至つては、昔流行型の繪の樣な帆船だ、露なお持つて居て、時代から云へば、十五六世紀の頃、冒險的探險航海者が大西洋を横斷した時に使つた贅澤な船に似てゐる。一度これが完全に飛行した時にはなんとも云はれぬ程すべての作り工合が美しく出來て居る。この新型飛行ボートは又用的に作られた、例へばその後部が高く成つて、前の尾の樣に成つて居る、漕手が安全に大洋に思ひ切つて乘り出す前に知つて置かなければならぬことは何んであると云へばそれは、波を乘り切らなければならぬことである。この飛行大帆前船は飛行船の樣にその尾に浮標風見がある。又たこの船は固く成つた丈夫な船體であるから波は何の苦もなく無難作に、スウーと走つてしまふ。昔の船の船尾の甲板の樣にこの船の最上前甲板も鋭く、さがつて出來て居るから非常な勢で、風を切つて進む事が出來る。水上で休んで居る時に、高い尻尾(中央のカヂ)は風に逆らつて向かつて居る。若し降下が餘り急ならば、舟が片方高く上げられしば、未だ高い尻尾は水を發したり、破損することなく水面に下ることが出來る。其他水案内に船首を水中に入れない樣に、さもないとデンカリカヘシをすることがある。(以上、一月號ポピユラーサイエンス誌より二月一日日本著)

◎六十餘圓を費消

爲替詐欺後報

下關へも僞電を發した

既報京城黄金町三丁目郵便所を利用し釜山局にて金九百五十圓の電報爲替を詐取し内地に逃去せんとする處を逮捕せられたる秋吉貉七(三五)は原籍佐賀縣神埼郡新山村の生れにて明治四十四年渡鮮し一月廿二日竹山郵便所員となり同年七月黄金町三丁目の郵便所に雇はれ其後四十五年七月江東郵便局の雇員たりしが大正四年十二月に辭し翌五年一月より支那方面にて

▽阿片の行商 をなし居る由なるが去る一月廿一日京城に舞戻り前記郵便所に寄寓しゐたる者なるが去る九日本局に同所よりの電話にて本局に對し僞名を以て發信人『中山政次郎』なる者にて受取人『村井俊吉』に金九百五十圓を釜山留置の電報爲替取組方を通知られば巧に欺きたるものにて其由長手通にて逮捕したる當時は現金八百八十六圓六十錢を所持し其自白によれば同金は直ちに

▽連絡船にて 内地に逃走する毛布十二圓洋服十八圓其他バー三十圓の買物をなしたる三歲愛月に於て飲食をなしたる三四十錢を費消したるのみなりしより前記物品は直ちに買先商人に買戻さしめ不足金は同人の從用せしインバネスを賣却なし九百五十圓の現金を司法部にて領收せり尙同人は事務に通じ居たるを以て此種の手段に行掛けの駄賃に下關便局にても騙取せんと同局へも由報爲替拂渡し方を打電なし置きたるも内地電文との符號の相違より下關局にては黄金町郵便所に紹介し來りたるより發覺せし由なりと尙餘罪ある見込にて取調中(釜山)

◎大金詐取犯人逮捕さる

二月一日京畿道坡州郡青石面某鮮人所有の籾二百石ありと稱し京城若草町米野菜商岡本某を介し龍山精米所に一石三十三圓にて賣込みの契約を爲し手附金二千七十圓を詐取せし犯人兵庫縣多紀郡古市村福西藤平(三〇)は釜山署の手に逮捕されたるが餘罪ある見込にて目下取調中なり(釜山特電)

◎婦人に化けた

懲役一年半

=喇嘛世の言渡=

妾裝婦人に化た所謂蕃家忠清南道安部郡南德面李世日非喇嘛世に係る詐欺騙取事件は十日懲役一年六箇月の言渡ありたり

骨董展覽會

於巴城館 十四、十五、十六、三日間

書畫 古器物 百數點

會主 天津 平野洋行

◎商州支店

燒失後報

重要書類は無事

十三日午前一時燒北商州西町なる銀行支店宿直室より出火し遂に同店を全燒したるは既報の如くなるが出火の原因は目下取調中にて確たる事判明せざるも多分宿直室の煖爐の火より起りしものなるべく當時重要書類は全部金庫に入れありしを以て無事なるも又人畜の死傷無く行舍は朝鮮建物なれば損害も比較的少なかりしと

◎電車脫線す

死傷者は無かつたが一時は却々大騷ぎ

十四日午前十一時半頃岡崎町東大門行八十九號電車の後部心棒大音響を發して折れ車輪粉碎すると共に脫線したるより乘客は悲鳴を擧げつゝ素早く下車したり幸ひに一名の負傷者をも出さざりしが一時は却々の騷ぎなりき乘客の一人は語る『此電車は龍山を發する際から車體に異樣な音響を發してゐたので氣持ちが惡いと思つて乘つてゐると此始末です聞けば東大門の車庫を發車する時から斯麼音を立てゝゐたさうです』

(西大門通五丁目の火事)

◎損害四萬餘圓

出火の場所は朝日組の倉庫にあらず

十四日夕刊に西大門通り朝日組運送店倉庫と題せる記事中朝日組運送店倉庫より發火とあるは誤聞なる事判明せり同倉庫は朝日組と太平町二丁目萩野紙店とにて他より分借して居たる一棟煉瓦建の倉庫にして内部を仕切りあり原因は未だ不明なるも萩野商店借用の方より發火したる由なるが損害額は約四萬五千圓に上れりと

◎安動學生放還

過日日比谷公園に集合し屋外演說を爲し檢擧されたる鮮人學生十三名は將來を戒め放還されたり(東京特電)

◎大虎を射留む

北部原の林寅一外一名は八日谷城郡竹谷面山中にて七尺餘の大虎を射留む(光州特電)

◎米無辨當品評會

京畿道物産陳列所主催にて米無辨當品評會を開催する事になつて廣く出品を求めるが右は米に代へるべき食糧品の取合せ及び其調理方法の研究を目的とし同陳列所に本年三月二十一日から二十七日迄七日間開設の豫定である品物は搬入より一品の價格は十八錢を標準とし一等以下四等に區分し四十八人へ賞狀及び賞金を授與する事になつてゐるが出品者は三月十五日迄に申込書を提出する事になつてゐる

◎氷滑中の椿事

十二日午後二時頃龍山公立普通學校生徒數名は漢江に於て氷滑中突然氷割れ五名墜落したので急報に接した憲兵及び消防手等馳付け種々手を盡して引揚げたるも三名は終に絕命した由

◎鐵道家族會

龍山派出所にては十二日午前十一時より幸町寶來館に於て所員及び家族の慰安會を催し來會者七百餘名にして派出所主任崎村正雄氏挨拶を述べ所員藤本高氏會員を代表して謝辭を述べ終つて宴に移り餘興として所員中田氏の筑前琵琶其他寫眞等あり午後五時盛會裡に散會せりと

◎優良品展覽會

大阪商品陳列所の主催にて來る四月十日より五月十五日迄優良品展覽會を開催すべく目下出品勸誘中なるが特に大阪と取引あるものは參考品として其取引商店の名義にて出品する事を得る由

◎敎友會大會

淨土宗敎友會は十六日午後一時より市內御水洞同宗敎會所に於て新年大會を擧行し吉村理事平田謙光師の說敎あり餘興もある筈

◎正誤 廿四日朝刊第二面『朝鮮貿易會社の見る製品』と題する記事中七パーセントとありしは七十パーセントの誤植に付訂正す

演藝

▲新野崎村 黄金館にては十五日より新派悲劇(新野崎村)を上場する筈なるが本篇は天活會社の代表的作品にして大道具大仕掛を巧みに利用して撮影しあり全篇涙を以て結晶すと云ふべく非常の大映畫なりと其他愉快なる寫眞は喜劇凸坊君と喜劇出雲娘等

▲連續活劇鐵道王の娘 第五、六篇はいよよヘレン、ホームス孃が驚くべき大活躍を演ずるところにして手に汗を握らすべしと

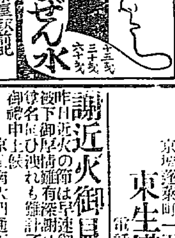
日本及歐米十三ヶ國專賣特許

胃腸最新藥

チゲスチン

食慾が進まない時に食慾を促す 元氣が衰へた時に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 精力の增進と體重の增加を促す 現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 說明書進呈

東京本町 藥種問屋 岡坂商店



ヨクキク! ひぜん

芳ひぜん水 十五錢 三十錢 六十錢

大阪市外南海天下茶屋驛前北 本舖 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

京城本町一丁目 大阪屋號

大正七年改版 朝鮮法令輯覽 定價拾圓 送料四拾二錢 朝鮮總督府編纂

大日本生活問題 一、六

文明と女性 一、六〇 八

鑛業法講話 大阪鑛務署長 定價一、八〇 二

永代浦外相の新雄作 九〇 四

即席料理の珍味 五〇 四

書名 著者 定價

最新刊

◎他に類のない

新職業

金儲けは樂にできる 紙資本同樣片手間で一ヶ月責任保證百圓以上 家庭でも外出中でも儲かる 職業を定員に限り公開教授す 詳細はハガキで申込めば報告す 東京市牛込區通寺町 日本化工學研究社

一、松丸太外四點 右賣拂ス詳細ハ二月拾五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

女子給仕募集

當局ニ於テ尋常小學校卒業以上ノモノニシテ年齡滿十二歲以上十六歲迄ノ內地人女子給仕數名採用ス 初給月收約拾壹圓四拾錢 採用志望者ハ履歷書携帶當局計理課庶務係ニ出頭スヘシ

大正八年二月 朝鮮總督府遞信局

公告

破產者李任均ニ對スル大正六年(破)第一號破產事件ニ付キ破產管財人ヨリ計算報告ノ爲メ債權者集會ヲ大正八年二月二十八日午前十時當院ニ於テ開ク

大正八年二月十三日 京城地方法院第二民事部 破產主任官 朝鮮總督府判事 新井胖

[illegible]哈爾賓〇〇〇部不正規兵[illegible]計一名及び計手一名軍曹二名は八日哈爾賓府憲兵隊の手に逮捕せられ[illegible]鐵道は偶に輸送力に大支障を來し奉天以北特に哈爾賓及び東清沿線[illegible]里又はチタ方面に商品の輸送を試み現に長春より二三十斤の手荷物[illegible]を求めて軍〇〇部に紐の軍需品列車の一部に商品の搭載を請ふが[illegible]情實又は利益の爲め之等商人の請を容れたる者絶無なりとは云ひ[illegible]件もあり之等の犯人も近く檢擧せらるゝに至るべしと(大連)

[illegible]込み七八錢を小賣合ひ結局七錢こ [illegible]六錢七錢六錢七錢八錢七錢八錢七錢

平均値段	
一節	三十八圓七十五
二節	三十八圓七十九
三節	三十八圓七十
四節	三十八圓七十七

文明猿股 送料共一圓卅錢 前金に限る ネル製局部にガーゼ有り前を外さば大小便自由純衛生世界的日用品 東京早稻田鶴巻町五一 服裝研究會

謹近火御見舞 京城南大門通五丁目 中村運送店

謹近火御見舞 京城南大門通五丁目 協同組運送店

謹近火御見舞 京城南大門通五丁目 鐵機械 松永彥次郎 電話一六二七番

謹近火御見舞 京城南大門驛前 食料品雜貨大福麥製造業問屋 池田商會 電話七百五十九番

謹近火御見舞 京城南大門驛前 岩永菓子店

謹近火御見舞 京城南大門驛前 二見旅館 電話長六八七番

謹近火御見舞 京城南大門驛前 川端運送店 長電話一〇八三番

謹近火御見舞 京城南大門外 精肉商 龜山精肉店 電話壹五三二番

謹近火御見舞 京城南大門外 雜貨商 目良本店 電話千二十番

謹近火御見舞 京城南大門外 木村商會 電話一三六四番

謹近火御見舞 京城南大門外 朝鮮勸農會社 電話四〇三番

謹近火御見舞 京城南大門驛前 笑福旅館 電話長一五五一番

謹近火御見舞 大正八年二月十四日 朝鮮精米株式會社

謹近火御見舞 京城南大門通五丁目 蓬萊旅館 電話二一七五番

謹近火御見舞 京城南大門通五丁目 東生商店 電話二六一九番 京城蓬萊町一丁目 東生鐵工所 電話一四九一番

謹近火御見舞 昨日近火の節は早速御馳付御見舞被下御厚情の段難有深謝候混雜の際御尊名伺ひ漏れも難計不取敢以紙上御禮申上候 京城南大門通五丁目 繩叺商 壽本亦次郎 電話二五〇七番

醇良清酒 京城岡崎町 特約店 嶋屋總本店 電話九〇三番 釀造元 柴谷合名會社

本日より新らしく特別興行

▲新派大悲劇 殿樣源次 全四巻

▲新派大悲劇 新野崎村 昔の寫眞に非ず今回天活會社が大道具大仕掛にて全部實景應用撮影したる大悲劇

▲連續決死大冒險 鐵道王の娘 第五、六篇四巻 ヘレンホームス孃命掛け大冒險大活躍

特に料金普通 黄金館

京日案內 申込中止後途中拒絕の節は料金不返戾 六回以上の御申込は特に割引の事 御照會は返信附にあらざれば回答せず 一回前金

◎看護婦及見習看護婦募集 希望者は來談又は照會あれ 仁川 松本病院

◎古本熱心高價買入 是非御試し乞ふ 電話三一九五番 ▲御報參上 ▲本町二丁目 群書堂

給仕募集 內地人十四五六歲迄 希望者は履歷書携帶來談せらるへし 京城 東洋拓殖會社支店

貸家 洞七四番地 二間 四疊半、六疊 坪數三百坪、家賃十五圓 御希望の方は左記へ 電話二五九九番 高麗人蔘製劑所

◎龜吉 父卯之助死去 居所しらせ 仁川 伊東留吉

株式賣買に相當經驗ある技術よりも寧ろ正直なる人を招聘したし 希望の方は社內柴田宛履歷書送附あれ面談午後五時より六時まで

藏働人數名至急入用 京城蓬萊町四丁目 三巴酒造株式會社

醫師又は代診 本科及び看護婦 各若干名至急入用 希望者は自筆履歷書送附ありたし 森療病院

簿記係採用 簿記に通ずる者廿歲以上卅歲迄內鮮人各一名希望者履歷書携帶來談 京城南米倉町 齋藤出張所

毛皮なめし並仕立 鳥獸毛皮製品 標本製造鳥類剝製 賣買 京城本町二 毛皮鳥毛剝製貿易商 電話長二〇六五番

◎ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

年金恩給 低利即時御立替 利息前引なし 最長期五年分迄 ▲京城永樂町一丁目 商品陳列館前下角 江州屋本店

書記被雇したし 甲種商業學校卒業程度の學力を有し簿記の素養あり年齡廿六歲 商店會社等の書記 電話一四五八番へ

母と子 (百九)

北島春石作 森田久畫

その夜（一）

朝鮮まで毎年のやうに行き馴れては居れど一箇月以上の旅行となれば多少の準備もしなければならぬので、昇一郎は銀座まで買物に行く事になつた。と、朝中も急に騒り仕度を始め手前も築地まで廻りますから、その邊までお供をと言ひ出す。

志保子は父親と良人とを一緒に出すのを不本意にも思つたが、別に止め立てする口上もなければ、是非なく玄關先まで送つて出た。そして姑の指し圖を受けながら、小間使のおいくにも手傳はせ、あれやこれやと旅行の用意を調へた。

やう〳〵一通りの仕度が濟んだ頃には、もう電燈も點いた六時過。これで一息吐いてわが居間へ引揚げ、今か〳〵とその歸宅を待つたが、晩餐の時間まではと言ひ殘した良人の昇一郎は、八時九時と時刻はすぎても立戻る氣勢がない。

『あゝ、やつぱりお父さんと御一緒に出すのではなかつたのに……』

と、今更悔んでも後の祭、わが居間を出たり入つたり、少しの間もじつと落著いてゐられなかつたが、約束よりは五時間もおくれた十一時すぎになつてやつと昇一郎は戻つて來た。

何といつても餘寒の去りやらぬ時候の故もあらうが、昇一郎の顏色は凄じいほど蒼かつた。

『まあ…お風邪でもお冒きなすつたのではございませんか。』

『うむ……何だかぞく〳〵していかんが。』と、昇一郎は買物らしい物も持たずに妻の居間へ入つて來た。

『お母さんは何うなすつたかい。』

『つい今し方までお待ちになりましたが、あまりお歸宅がおそいゆゑ、お先へ休ませていただくからと、つい一時間ほど前にお就床でございます。』

『さうか』と、力なく座について『今夜の寒さは格別であつた。』

『さうでせうとも！わたし、どんなに御心配申したか知れません。そして、あの御飯は何うなさいますか。』

『うむ、鴻の巣で佛蘭西料理をやつて來たが……旅行前に世界風にでもかゝつては大變だ。今夜は葡萄酒でも飲んで寢込むとしよう。』

『では、すぐに召上りますか。』

『こゝへ持つて來て貰はう。』

『あの、何かおさかなを……』

『いや、何にも入らんから。』

良人より命じられたまゝに志保子は葡萄酒に小さな洋盃を添へた銀盆を持出す。

昇一郎は早速洋盃を執り上げた それにお酌をしながら『中洲の父とは……何處まで御一緒にいらつしやいましたか。』

『うむ、銀座でお別れしたが……』

と一氣に飲み乾し、二杯目の葡萄酒を注がせながら『お前の前では言ひ難いが、あのお父さんにも困つたものだな。』

志保子は愕然と肚腑を突かれた形。

『では、又何か御無理をお願ひいたしたのでせうか。』

『それは……假りにも親子の關係を結んだ以上出來るだけのお世話は申すつもりでゐるが、今年に入つてから既に三回、出發前に五千圓だけ融通して貰ひ度いとは、ちと無理な依頼ではあるまいかと思ふね。』

『わたくしまでが面目ございません……』

と、侘しげな眼を膝に落して『父が今日の苦しみをいたすのもまつたく自業自得なのでございます。その件につきましては、今日も堅く約束したこともありますゆゑ、決して御心配をあそばさないやう願ひます。』

『いや、面と對つて哀願されたのだから、今度だけは快く貸すつもりだが、この後はお前から角の立たぬやうお斷り申してくれ。』

『……はい。』

『それを承知してくれたら、僕も非常に滿足だが……その他にも最う一つ、今夜は不愉快な思ひをしたよ。』

古本買受 京城明治町通り 御報參上 野村書店 電話二〇〇五

選歌評（二）

桃の舍主人

はれわたる雪のあしたにみる時は世にきよからぬものなかりけり

◎此歌を一讀して、直ちに感ずるは、時の觀念のたしかならぬ事である。上句には『見る時は』とあつて、現在のやうであるが、下句に至れば『なかりけり』と過去の助辭を使つて居る。作者は『見る時』を『見たる時』の意に解せしめんとするのか將又『なかりけり』を單に『無い』の意に解せしめんとするのか忖度に苦しむも、それは何れにしても、語法上斯る意に解することは出來ぬ。又『晴れわたる雪のあした』といふ事も意義を成さぬ。元來『雪のあした』といへば、雪のふりつゝある朝をいふが普通なれば、其上に『晴れわたりたる』と附加へたりとて『雪のはれたるあした』といふ意味にはならぬのである。一體此歌全體の趣向からして優れたる歌として取扱はれたるは解しがたき所である。

我等の俳句

○ 坡柳

何より一杯の熱き湯と口つけて短日の
不意の涙が出て短日の茶漬を食つてゐた
ふわ〳〵雪が舞ひおりるが下に明くなる
お前も其蒲團に寐たまゝ明け
枯草殺死ぬものは死んでしまへ
五七日まめな母親が大根きざむ
あつい蒸汁で暖かになりけり
蒲團被つて息悲なきよろこび
水田の氷を取つて行く提灯が暗かつた

○ 眞三

制服を脱ぎに釦を外して鰌が煮えた
宿引に從へは寒の小砂利のかたく

五の日十の日會の一發展として京日俳壇と並んで本欄を設け『我等の俳句』を理解ある諸子の作品を歡迎す 原稿は府接市内和泉町七中村烏堂宛の事

お惣菜帳

◇うぐひす豆 淀青豌豆を一晩ほど水の中に漬け少々入れたる水が泣く迄煮る時に漬けたる水と共に鍋に入れて火に架け、豆柔かになりたる時汁を捨てゝ砂糖と鹽とにて弱火にて豆のくづれぬやうに煮る

日報歌壇

◇林（三の日會） 秀水

香が愛する林の奥にひつそりと柔なつみつゝひとりであらむ
せんれんに落葉林をこひぬたり吹雪の荒れもかそけき耳に

砂丘

けたたましく鳴きて落ちゆく鳥の聲谷にこだましてまにかへる
日のかげる林にさむく落葉ふみ世にさびしらの心わきける

默

ふかぶかと林のなかに立入ればほのかに水の音の聞ゆる
沸しさのかぎり知られず疲れつゝ林のなかに身はひさりなり

不案

一本の竹を伐らんとさびしくも竹の林にふかくいりけり
竹きれば一節ごとにこだまする竹の林に竹をきりにけり

日報柳壇

劍花坊選

盜人が四角に歩るく京の町 詩腕坊
電報を畑で渡す村の局 同
東山北山京の日は暮れる 柳蛙
一日を千秋にする面白さ 齊論坊
山奥で京を見てゐる新聞紙 笑翁
官報を雜誌の襟に買る氣也 同
日短を落ついてゐる長煙管 柔雨
日記帖寒い日だけが書いてあり 笑城
電報で遙かにかじる親の脛 凸坊

新刊紹介

▲美しき牢獄（榮木しづ著） 脚を失つた、榮と云ふ可憐な處女と青年畫家の戀を描き五年間の樂しくて淡い家庭生活を出いたもの是れ著者が遺した只だ一つの長編小説でお榮とは自身である事は云ふ迄もない著者の短い一生は或は美しい牢獄であつたかも知れぬ（一圓五十錢、京芝公園玄文社）

▲ホトトギス（二ノ六） 風流懺法後日譚（虛子）重吉（高下窪太郎）秋の思出（和香女）落馬東（被窩 劇評（鳴）盜家青年の宗教（鬼留子）俳句入門欄（六項）寫生文（三篇）其角研究（六氏）俳一句（三）俳集 俳界消息其他にて淡彩挿畫（不折）挿畫（一路、芋錢、雨亭、雨楓、帆）表紙畫（寫山）等（三十錢、東京牛込市ヶ谷河原町 一二共發行所）

▲日本蠶絲雜誌（二月號） 八錢名古屋市東區長塀 三ノ五共社

▲ローマ字（二月號） 十五錢東京麴町有樂町一ノ三ローマ字ひろめ會

▲帝國青年（二月號） 十五錢東京麴町區永田町一ノ一九共社

▲繪日傘（長田幹彦著） 表紙も挿繪も悉く濃艶な目も眩むる許りの繪で飾られてある内容は祇園外七篇の創作や雜作を集めたもので或は清楚な筆致でスラ〳〵と書き流したものや或は苦心彫琢の末に成つた名篇佳什もある兎に角装の艶めかしいので何んな文學嫌ひな人でも此の本を見たら必らず食指動きて一度は讀んで見る氣になる綺麗な本である（一圓三十錢 東京芳文公園玄文社）

▲朝鮮蠶業時報（二の二） 製絲工女と鮮婦人（住友三四郎）外國種と交雜種（三浦保衛）更に秋蠶に力を用ゐよ（植田尚正）蠶蛆病（宮原貞衛）蠶業と石炭（牧野純三）咸南の蠶業（李咸南道長官）蠶業界の進歩を解く（茂木義平）京畿道の獎勵計畫（田中張郎）慶北の蠶絲業（小管野清彥）秋蠶黑種の冷藏（論上正一）

▲鷄世界（二の一） 二十錢東京神田區豫業問答其他（十五錢、京城黃金町一朝鮮出版社）

▲泉町一共社

▲蠶業新報（二月號） 二十三錢東京日本橋區箔屋町十四共社

▲考へ方（二月號） 二十五錢東京神田區小師保町一三考へ方研究社

▲一大帝國（二月號） 國家觀念の改造（社說）我黨の普通選擧運動（橋本徹馬）

其他政治經濟社 文藝俱樂部 婦人界に對する各評論 諸名士 二十錢東京芝區琴平町二共社

▲家庭顧問（二月號） 有益なる婦人日常の心得を集めたるもの 十五錢東京麴町區幸町一の六化粧調查會

▲東洋皮革新誌（二號） 十五錢大阪東區内淡路町二の七七共社

▲經濟資料（二月號） ウクライナ經濟狀態附四邊ウクライナ經濟條約、英國植民協會、滿蒙農政問題、二海外策略二十五錢、東京麴町區有樂町一の一東洋協社内東亞經濟調查局

▲戰友（二月號） 七錢東京市牛込區（？）町二の五二帝國在鄉軍人本部

女學校の料理

從來の料理法や或は女學校なぞで教へる一科の西洋料理法は果して日本の風土に適する日本人の身體を養ふべき生理學や衛生法に應じて授けらるゝや否や聊か疑はざるを得ぬ衣食住の中で特に大切なる食物の事を思へば本邦四百萬男女の學生に衛生の一課を授くる第一着に米の飯や野菜や肉類の主なる數十種の分析表や澱粉や蛋白が胃腸の如何なる働にて消化攝取せらるゝか位を遍く悟らせたいのである（鐵道青年）

有望なる自動車界

戰後最も有望なる本邦自動車界は今や五千臺を突破し之れに伴うて運轉手及び技術販賣員の缺乏を告げ月收五十圓以上百圓内外に達するの盛況なり故に東京羽田なる日本自動車學校にては今回大擴張を試み特に無試驗入學せしめ卒業後は關係諸會社へ高給就職せしむるものなり詳細は同校宛ハガキにて學則を申込まるべし

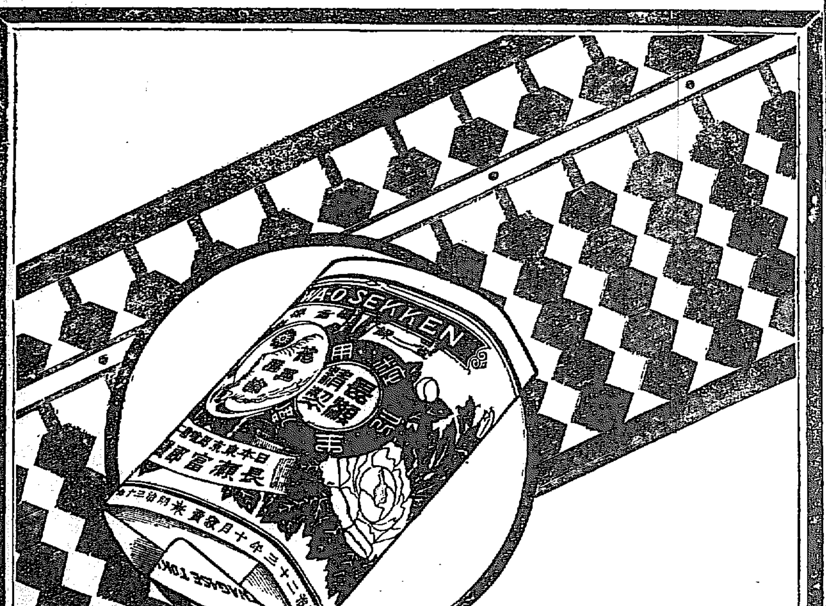
日本飛行學校の通信教授

東京羽田海岸にて有名なる日本飛行學校は民間飛行界の爲めに萬丈の氣を吐きつゝあるが今回不遇なる無資力の飛行機研究者の爲めに飛行機講義錄を發行し廉價にて通信教授を開始せり同見本は申込み次第送呈すと

讀者の領分

小生は中學校入學試驗規則の改正に關し一教育家に贊成を表する能はざるを遺憾とする者である。一教育家は容易に生徒が這入り得る學校には不出來の生徒が集まると云はるゝも事實に於て斷る筈は無き筈である。若し改正規則の如く各校同日に入學試驗を行ふなんか或は却て入學の實力ある學生をして不幸の境遇に陷らしむる事がないとも限らぬ何となれば入學試驗なぞは僥倖が多い又一方に各小學校の競爭熱を煽るの弊ある故に小生は改正規則に贊成するを躊躇するものである（老教育家）

▲本月八日の讀者領分で迷惑生君と言はれる御方は讀者領分で迷惑生君、言はれる御方は某會社出勤の某等と妻は誠に喧嘩仲間の奴等です殊に總の方は某さんの嫁になる迄は所々に下女奉公をした事ある擦れつからしで舌の短かいな甘つたるい詞を使ひ賃に口かましい女のです冬も亭主が友人の交際で新町に一夕登樓したさうです所が其妻は忽ち嫉妬の火焰を燃やし散々當り散らした揚げ句夫れお酢飯やれお菜やれおうどんとあらゆる飲食物を鱈腹喰つて一日に五圓とかお腹に入れて仕舞つたさうです所が高が下女位として居たものが一度に美味なものを澤山食つたものですから忽ち腹を損じ病氣して夫れ醫者やれ按摩と散々金を使



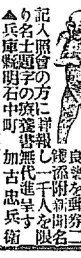
經濟的方面
……から考へても又
品質上から考へても
純良で德用な石鹼は
品質本位
花王石鹼
以外にはありません

花王石鹼製造元 東京馬喰町 長瀬商會
花王石鹼水香油關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

休戰と毛布
（買遲れて後悔する勿れ）
先頃迄寒氣最も嚴しく敗戰比利亞方面に送りし約定品も休戰と同時に大部分中止と成不止得此際茶鼠色の大判送付二枚續一組三圓四十五錢と言ふ殆ど原毛の價にて賣放つ希望者は至急ハガキで申込あれ代金引換小包にて發送す數に限あり賣切後は送付せず不向の時は返金交換隨意
東京神田株式會社 東京織物店

高等メリヤスシャツ
二枚一組一圓五十錢
品質の自慢と破天荒の安賣で終始一貫する東京市日本橋區本石町三丁目呉服問屋關谷商店は今回高等裏毛メリヤスシャツの大見切を始めたが二枚一組甲號三圓三十錢乙號二圓五十錢と云ふ去年發賣し値段にて今年も引續き五百打限り賣ると云ふ同店は七週年の記念として一組の申込に正金に代用す指環壹個宛の無代進呈をなすと云ふ高尚なる不思議の十八金色の指環に地方の希望者はハガキにて申込めば送料賣代金引換にて送るとの事但し限りある品故賣切れば御斷り申すとの事

中風病きちう
余が家は祖父及び父と母の三人も同病にて困難したる遺傳系統によりて其悲き實驗より得たる良藥を郵券二錢添附の方に新聞名記入照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書無代進呈す
▲兵庫縣明石中町 加古忠兵衛



學理上と實驗上と
ピツタリ一致した現代理想的の……
腦神經病最新良藥は……
健腦丸
である!!
先づ一週分を試みよ!!
偉大なる效驗現れん!!
健腦丸は
▣腦充血▣腦膜炎▣腦貧血
▣神經痛▣中風▣卒中▣頭痛
▣眩暈▣便秘▣健忘▣逆上
▣不眠▣耳鳴▣癲癇等
一切の腦神經病に偉効あり
其特長
常に少量宛服用せば逆上を引下げ便通をよくし、恐る可き腦充血や中風卒中を未發に豫防し頭腦を明晰にし記憶力を增進す。
藥價
半週分 四十錢
一週分 七十錢
二週分 壹圓卅錢
三週分 壹圓八十錢
五週分 二圓八十錢
十週分 五圓
全國各藥店にあり
本舗 東京 大阪 丹平商會藥房

健胃消化劑
ゴルフ
ゴルフは高峰博士發見の有名なるタカヂアスターゼを主藥とせる美味の健胃消化劑にして如何なる頑固な胃病にも不思議な程よくきく、年中健康で暮したき人は毎食後三四錠づゝ服用せられよ。
定價 一圓卅錢 五十錢 廿五錢
全國到る處の藥店にあり
東京室町 泰昌製藥株式會社

◎客月清津貿易 一月中清津貿易額は總移出七十六萬五千七百三十九圓を激増せるも移入に於て三十四萬七千三百五十七圓を減じ……

▲輸移入 米一小麥（？）六、八〇六、（？）……皮類……五〇五材木四五〇、……三、八〇マッチ二、四九三其他一七二、五八三……